

# 旧総合運動公園用地利活用計画

## 基本構想

平成29年5月

## 目 次

1. 基礎条件の整理	1
1-1. 矢吹町の概要	1
1-2. 関連計画・構想	5
2. 対象地域の概況	9
2-1. 関連法令による指定・規制等	9
2-2. 周辺交通網	12
2-3. 周辺環境	13
2-4. 周辺施設	14
3. スポーツ・レクリエーションを取巻く状況	20
3-1. 矢吹町のスポーツ関連組織や行事	20
3-2. 近隣市町村の公園施設概況	22
4. 旧公園用地の把握	23
4-1. 地形	23
4-2. 植生	24
5. 旧公園用地活用のコンセプトと検討方針	25
5-1. コンセプト	25
5-2. 課題の整理と検討方針	27
5-3. 導入施設の抽出	28
5-4. ゾーニング計画	29
6. 導入施設の検討	31
6-1. 導入施設の整理	31
6-2. 施設の規模検討	32
7. 施設配置の検討	44
8. 旧総合運動公園用地利活用（案）イメージパース	50
9. 今後の検討課題	54
9-1. 本構想の構成	54
9-2. 基本計画における検討課題	54

# 1. 基礎条件の整理

## 1-1. 矢吹町の概要

### 1) 位置・地勢

■矢吹町は福島県の南部に位置し、福島市から約60kmの位置にある。東京からは約200kmであるが、東北新幹線、東北自動車道が整備され、東京都心とは2時間で結ばれている。

■周囲は石川町、中島村、泉崎村、白河市、天栄村、鏡石町、玉川村と接している。

■町域面積は60.40km<sup>2</sup>、標高は280~300mであり、ほぼ全般的に平坦な地形となっている。

### 2) 気象

■福島県白河測候所における過去30年間(1981~2011)の平年値によると、年間平均気温は11.5℃(参考:東京15.4℃)、平均の日最低気温は7.2℃、平均の日最高気温は16.4℃で、その差は9.2℃(参考:東京8.2℃)である。

■降水量は6~9月が多く、年間平均降水量は1,411mm(参考:東京1,528mm)である。また10日以上の降雪があるのは12月~3月まで、日合計の平均最大降雪量は21cm、平均最深積雪は23cmとなっている。

■寒暖の差が大きく、やや寒冷地の傾向があるが少雪少雨地域であり、日照時間も比較的長い(1,780h/年、参考:東京1,877h/年)ことから、過ごしやすい気候といえる。

### 3) 沿革

■矢吹町の名の由来は、源義家が前九年の役(1051年)で奥州下向の際、弓矢の矢柄で屋根を葺いて八幡神社を造営したということから、この地を「矢葺」と称したことに始まっているとされている。

■矢吹ヶ原と呼ばれた一帯は雉が繁殖し、明治以降宮内庁御猟場ともなった。

■明治18(1885)年、農民の星吉右衛門が矢吹の西方・天栄村羽鳥を流れる鶴沼川をせき止めてダムを造り、東の阿武隈川に流し、白河市本沼穴堰で取水して矢吹が原へ引水するという「西水東流構想」を掲げたが叶わず、紆余曲折の中、大正時代、二つの大戦を経て国営干拓事業として進展し、矢吹ヶ原は水田地帯へ大きく変容した。吉右衛門の西水東流構想から71年もの歳月を経て実現、後に日本三大開拓地の一つとなる。

■現在の矢吹町は、明治22年の市町村制実施に伴って生まれた矢吹村、中畑村、三神村を前身としている。その後町制施行を経て、昭和30年3月、町村合併促進法に基づき、矢吹町、中畑村、三神村、広戸村の一部が合併したことにより誕生した。

#### 4)人口

■矢吹町の人口は、平成27年10月1日現在の国勢調査結果人口では17,370人である。平成22年の18,407人に対して、5年間で1,037人（5.2%程度）の減少を示した。

■本町の人口は平成7年をピークに徐々に減少に転じ、また、年齢構成については、**少子高齢社会が進行し、老年人口の漸増、年少人口の漸減傾向が続いている。**

■世帯数は増加傾向にあるが、これは主に核家族化の進行によるものと考えられる。

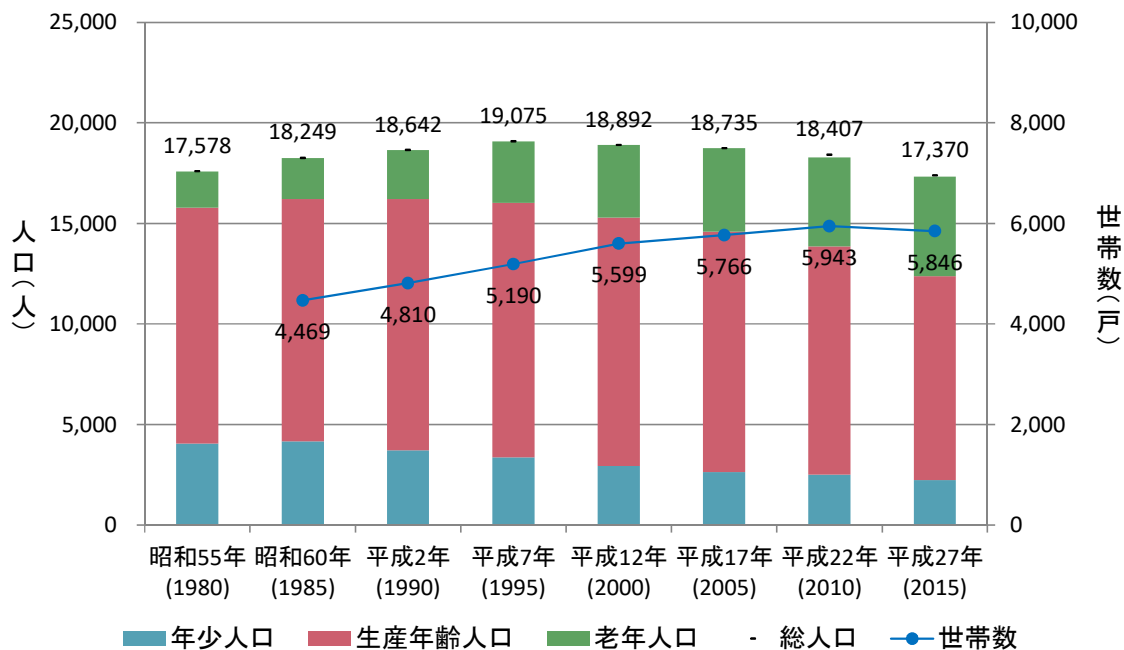


図 1-1-1 人口・世帯数の推移

(出典：福島県統計課「福島県の推計人口」)



## 5) 土地利用と産業

■矢吹町の土地利用は、農用地が半分近くを占めており、土地利用の割合からみると農村地帯といえる。

■産業構造を産業別就業者数からみると、農業を中心とした第1次産業就業者は昭和50年には40%を占めていたが、それ以降は減少を続け、平成22年には12%まで減少している。

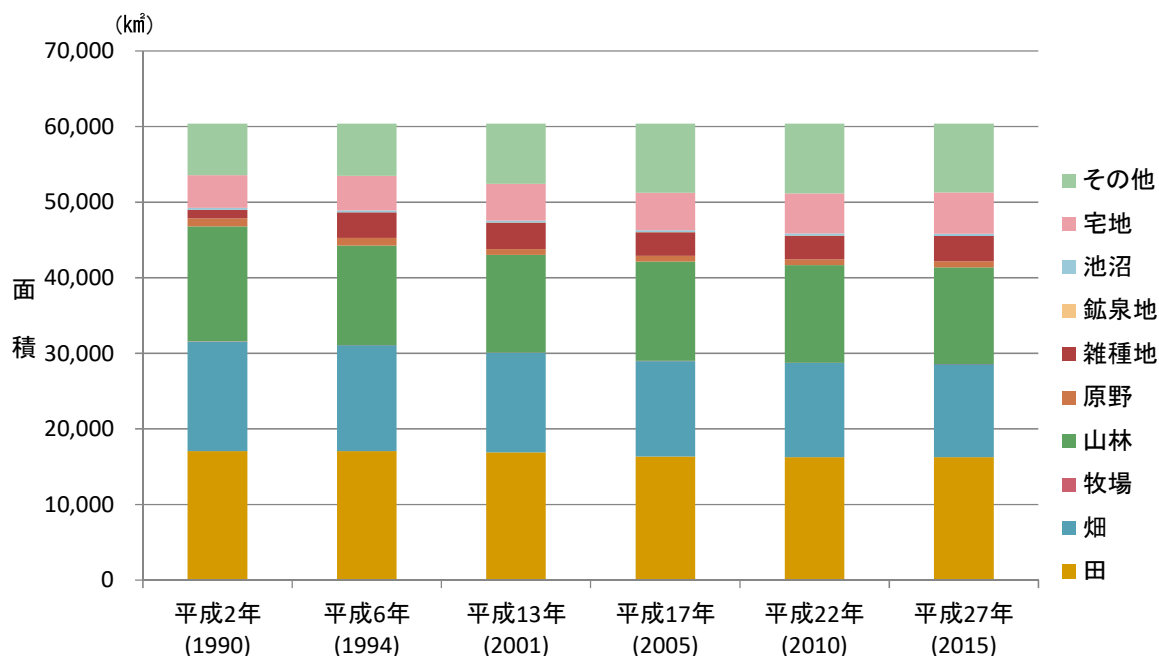


図 1-1-2 土地利用面積の推移

(出典：全国都道府県市町村面積調)

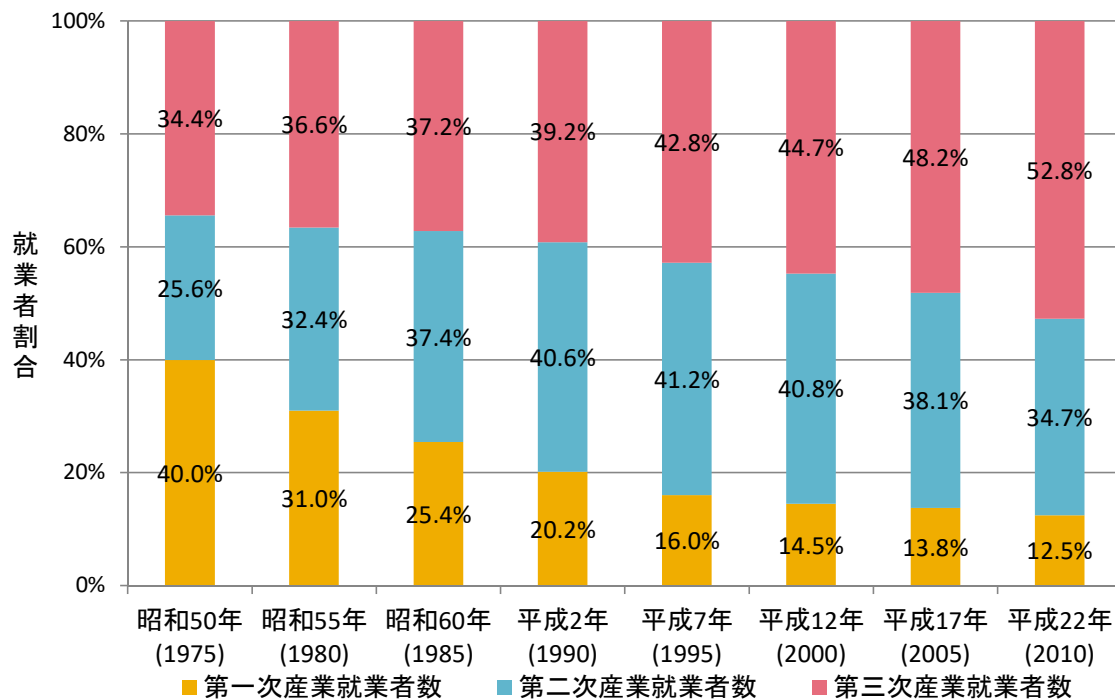


図 1-3 産業別就業者割合の推移

(出典：国勢調査)

- 矢吹町の農業経営形態は水稻が中心である。
- 専業農家の大幅な減少と兼業化が進み、耕地面積も減少傾向にある。
- 歴史的な経緯（合併前の旧町村）や地形によって、市街化が進んだ中で農が営まれている矢吹地区、専業農家が比較的多く特に野菜は県内有数の産地となっている中畑地区、土地基盤整備などを実施して労働生産性の向上や耕地の高度利用が図られてきた一方で兼業農家の割合が高い三神地区の3地区に分けられる。同じ町内であっても、それぞれ土地利用状況や農業特性が異なっている。

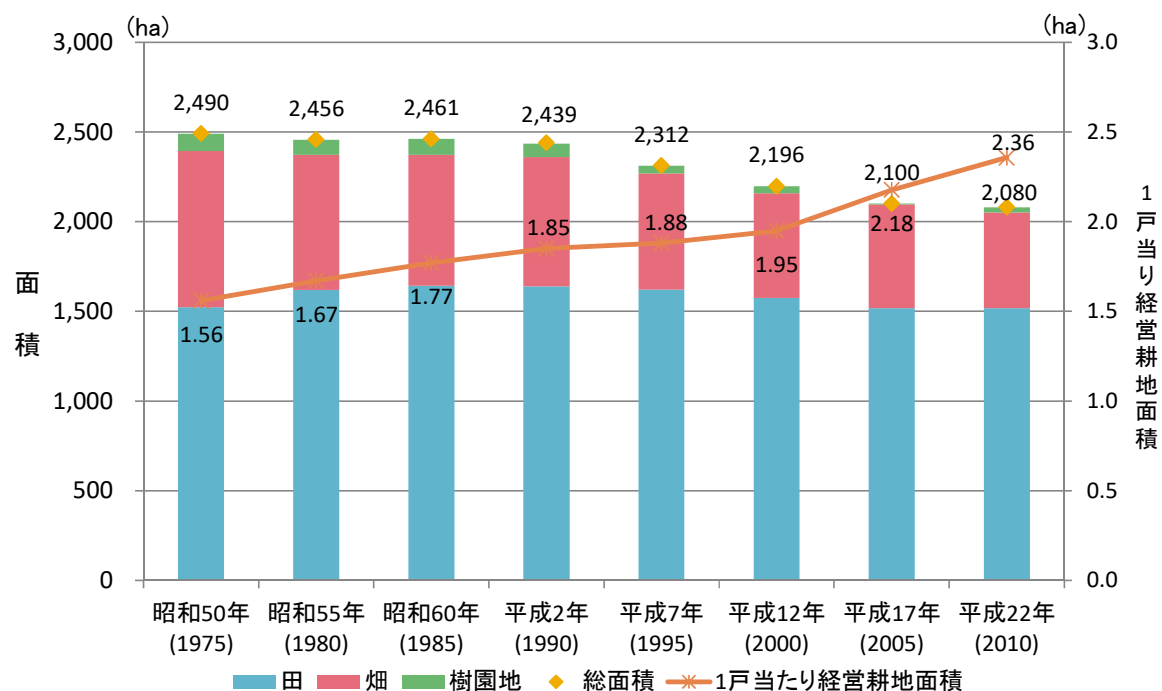
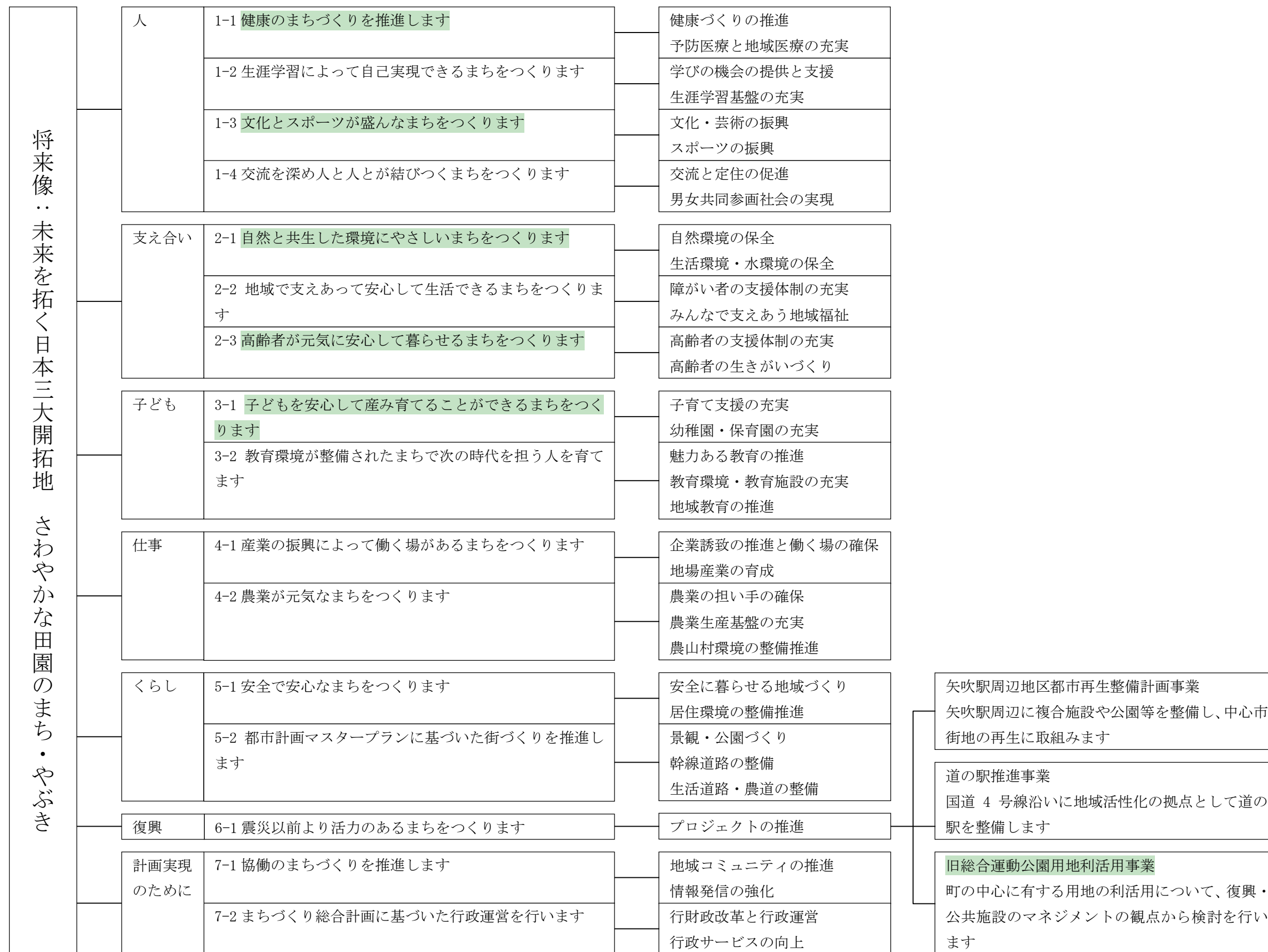


図 1-4 経営耕地面積の推移

(出典：世界農林業センサス)

1-2. 関連計画・構想

1) 第6次矢吹町まちづくり総合計画 (H28.3)



## 2) 矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (H27. 10)

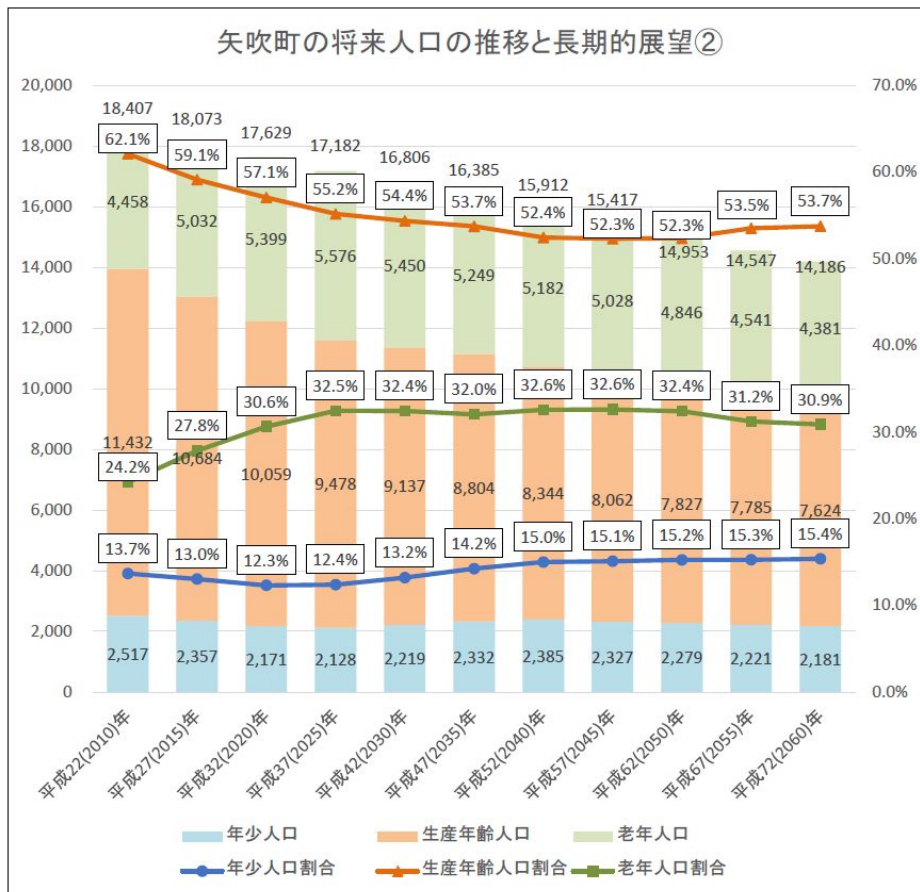
### ■戦略の目的等

将来の人口ビジョンを踏まえて、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のための基本的な方向や具体的な施策の提示を目的とする。

### ■人口ビジョン(人口の将来展望)

将来人口は減少するが、年少人口は、平成 32 年以降ほぼ横ばいで推移している。

福島県の将来推計と比較すると、年少人口は、平成 52 (2040) 年では 15.0%と県 (14.2%) より高く、平成 72 (2060) 年では 15.4%と県 (15.7%) より低くなるが、ほぼ全県と同等の割合となる。



(出典：矢吹町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン H27. 10)

図表55 2040年・2060年の福島県の人口構造(年齢3区分別・割合)

(単位:万人)

	西暦	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
現状推移	2040年	147	14.5 9.9%	74.4 50.6%	58.1 39.5%
	2060年	107	9.7 9.0%	52.6 49.0%	45.1 42.0%
県将来見通し	2040年	162	23 14.2%	82.2 50.7%	56.7 35.0%
	2060年	142	22.2 15.7%	75.6 53.3%	43.9 31.0%

(出典：福島県人口ビジョン H27. 11)

現状推移：人口減少対策を講じない場合

県将来見通し：出生率 2.16、社会動態±0 が実現した場合

## ■基本目標と目標別施策

- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ・若い世代への経済的支援
  - ・子育て世代の仕事と家庭との両立支援
  - ・次代を担う子供たちへの特色ある教育の推進
- 矢吹町における安定した雇用を創出する
  - ・企業誘致の促進と既存企業の強化支援
  - ・地域のブランド化と農商工連携による町産業の活性化
  - ・拠点活用による地域の活性化
  - ・商業の振興
  - ・競争力のある農業の推進
  - ・生涯現役社会の実現に向けた高齢者の就労促進
- 矢吹町への交流・流入人口を増やす
  - ・タウンプロモーションによる情報発信の強化
  - ・スポーツを通じての交流支援
  - (スポーツイベント参加者数 6000人/年→H31年：7000人/年)
  - ・イベント支援による交流人口の増大と町のPR
  - ・日本三大開拓地・姉妹都市交流事業による郷土への誇りの醸成
  - ・地域の拠点整備による地域の活性化と観光・交流の拠点化
  - ・定住・二地域居住に向けたPRの推進と整備
- 矢吹町人口ビジョンを踏まえた地域をつくり、住民の安全な暮らしを守る
  - ・快適な生活環境づくりの推進
  - ・安全・安心な居住環境の形成
  - ・定住自立圏の形成促進
  - ・自立し支え合う地域コミュニティの形成支援

### 3) 矢吹町公共施設総合管理計画 (H28. 3)

#### ■計画の目的等

今後、同時多発的に公共施設やインフラの改修・更新時期を迎えるため、維持更新費の適正水準化をどのように図っていくかの戦略的な管理の方向性を、分野横断的に示すことを目的とする。

#### ■全体方針

公共施設等の量・質の見直しを図り、ライフサイクルコスト・施設総量の縮減に取り組む戦略的な施設経営を推進し、町民ニーズに対応した施設サービスの持続的な提供を行う。

#### ■全体方針の5つの柱

##### ①施設の長寿命化

- ・新規施設は原則としてつくらない

##### ②施設の複合化と機能集約

- ・施設を更新(建替え)する場合は、複合化・多機能化を検討する

##### ③効率的な運営手法

- ・施設総量(総床面積)を縮減する

##### ④新たな事業手法の活用

- ・改修・更新コスト、管理運営コストを縮減する

##### ⑤取組体制の構築

- ・ライフサイクルコストを縮減する

### 4) 矢吹町複合施設基本構想 (H28. 10)

※総合計画で掲げられた3つの重点プロジェクトのうちの1つ。

#### ■構想の目的等

平成27年1月に策定された「矢吹駅周辺地区都市再生整備計画」において、地域交流センター(中央公民館)と図書館を核とした複合施設の建設が位置付けられた。本町の顔である中心市街地で、相応の役割を担える施設の整備を目指し、基本理念や整備方針等の設定を行うことを目的とする。

#### ■基本理念

多くの人々が交流する町のシンボルとなる施設

#### ■基本方針

- 多くの人々が利用する複合施設
- 多様な人々の利用を想定した施設整備
- シンボル施設としての意匠や形態などの配慮
- 維持管理がしやすくLCC(ライフサイクルコスト)に配慮した施設
- 環境への配慮

#### ■整備施設

地域交流センター(中央公民館)、図書館、観光交流センター、子育て世代活動支援センター 外

#### ■建設場所と敷地面積、開館予定

矢吹町本町地内(東西しらかわ農協矢吹支店跡地)、約6,200㎡、平成32年4月



## 2. 対象地域の概況

### 2-1. 関連法令による指定・規制等

#### 1) 都市計画法の用途地域

##### ■ 県南都市計画区域における位置づけ

本町の都市計画区域は行政区域全域(約 6,037ha)であり、そのうち用途地域は約 389ha となっている。旧総合運動公園用地(以下、「旧公園用地」と称す)は、都市計画区域内用途地域外となっている。当地における建築形態制限の指定については、容積率は 200%、建ぺい率は 60%となっている。

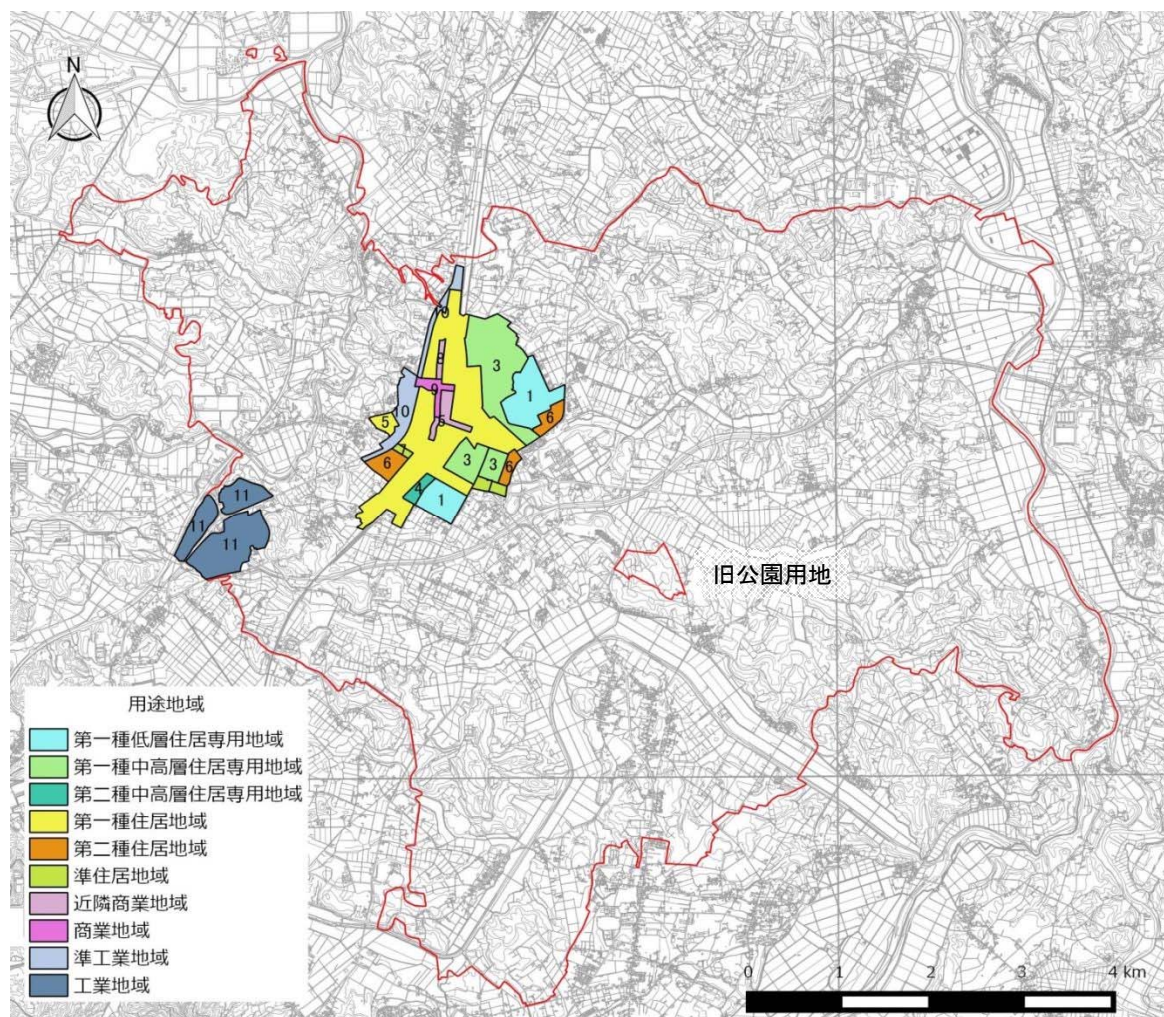


図 2-1-1 都市計画法の用途地域



## 2) 農業振興地域の整備に関する法の農業振興地域等

### ■ 矢吹農業振興地域整備計画

旧公園用地は北部の一端を除いて、大部分は農業振興地域となっている。

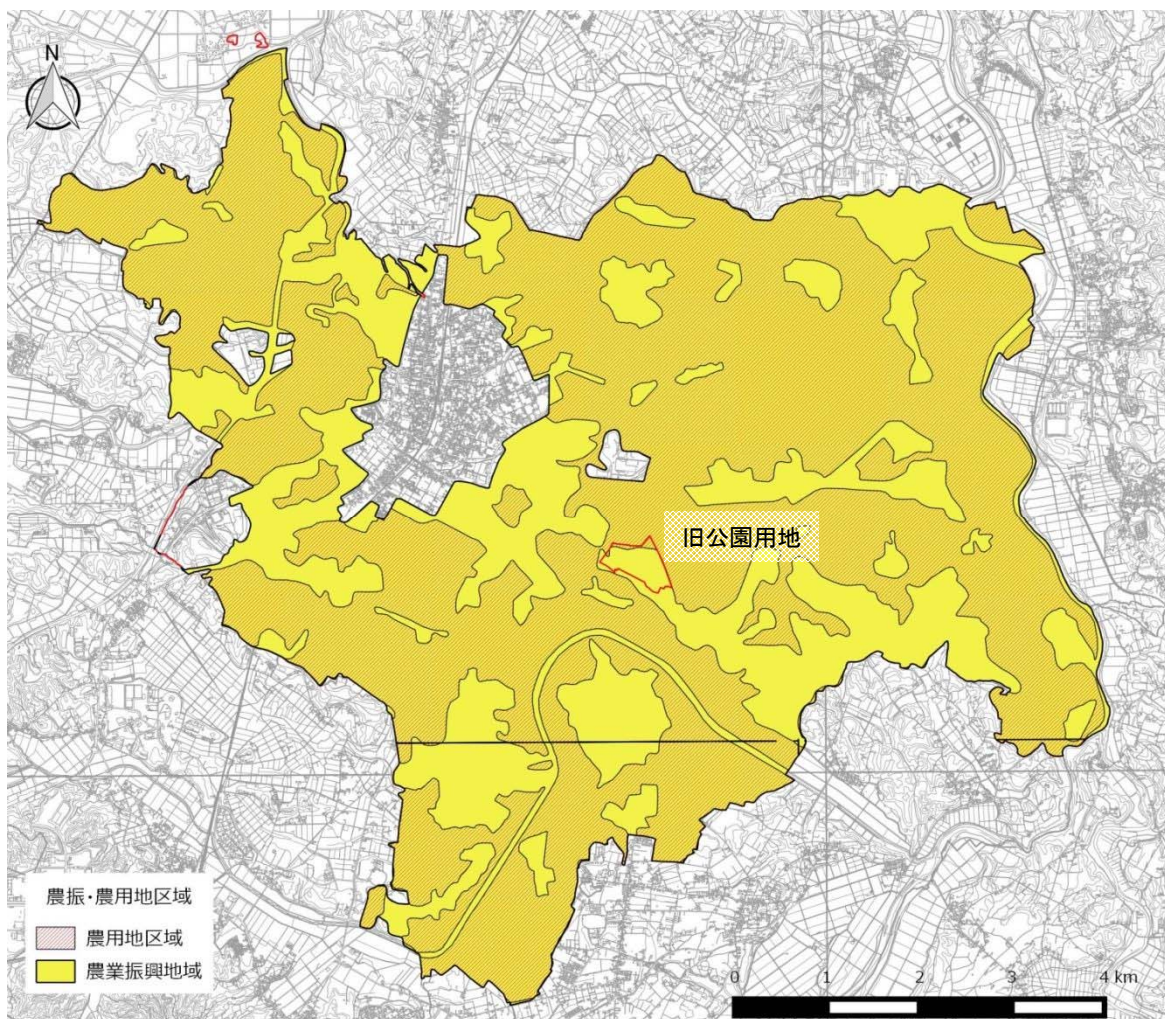


図 2-1-2 農業振興地域



### 3) 自然・災害に関する法規制

- 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律：鳥獣保護区及び猟銃禁止区域の適用外
- 森林法：保健保安林の適用外
- 水防法：区域外
- 福島県自然環境保全条例

旧公園用地は、福島県の自然環境保全地域及び緑地環境保全地域には含まれていない。ただし、本町には恩賜林(アカマツの一斉林、7.8ha)、五本松(アカマツの並木、1.2ha)が自然環境保全地域に指定されている。



図 2-1-3 自然環境保全地域

(出典：福島県自然公園及び自然環境保全地域位置図(福島県 HP)より抜粋)

## 2-2. 周辺交通網

矢吹町は、空港・高速道路・鉄道の交通体系に恵まれているほか、町内を国道4号が通り、主要地方道四本が集結するなど、南東北の玄関口として、産業・流通ともに重要な役割を担っている。特に東北自動車道～福島空港～磐越自動車道を結ぶ高速交通ネットワーク「あぶくま高原道路」を形成したことにより、各地域へのアクセスが充実している。

東北本線矢吹駅から旧公園用地までは約2.5kmの道のりで、徒歩では30分前後を要する。また、町内各所から旧公園地に至る公共交通手段はほとんどなく、主なアクセスは乗用車になると考えられる。

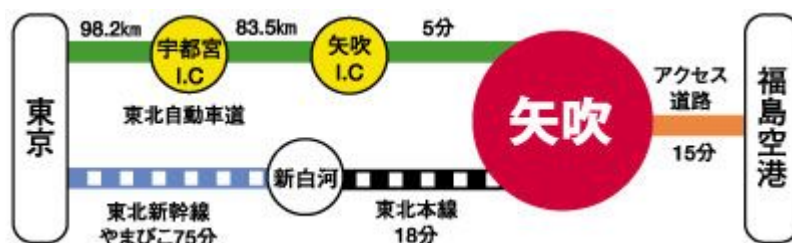


図 2-2-1 矢吹町のアクセス

(出典：第6次矢吹町まちづくり総合計画)



## 2-3. 周辺環境

### 1) 植物

矢吹町は温帯と暖帯の境にある地域で、冷温帯落葉広葉樹林帯に属するが、常緑針葉樹林や、暖帯性の植物も混じっている。全体として二次林のコナラ林と植栽されたアカマツ・スギ林が多いのが特徴で、他に矢吹が原の開拓による水田地帯がきわめて多い。

矢吹町のアカマツ林はすべて人為的に植栽された二次林であるが、特に中畑地区のアカマツ林は長期にわたって伐採の手が入っていないことから、旧環境庁の特定植物群落調査の対象として選定されている。計画地周辺には恩賜林があるが、これは昭和天皇御即位記念に、御下賜になった恩賜金により植林したものといわれ、アカマツを主とし、コナラ、クヌギの混じった樹林である。

### 2) 動物

本町にはコナラ林、アカマツ林、杉林などの森林群落も多く、河川、大小の池沼も多いため、多くの動物が生息している。特にキツネ、タヌキの生息情報がある。また自然環境保全基礎調査(旧環境庁)において、昆虫のオオムラサキ(日本の国蝶)の調査対象地域にもなっている。

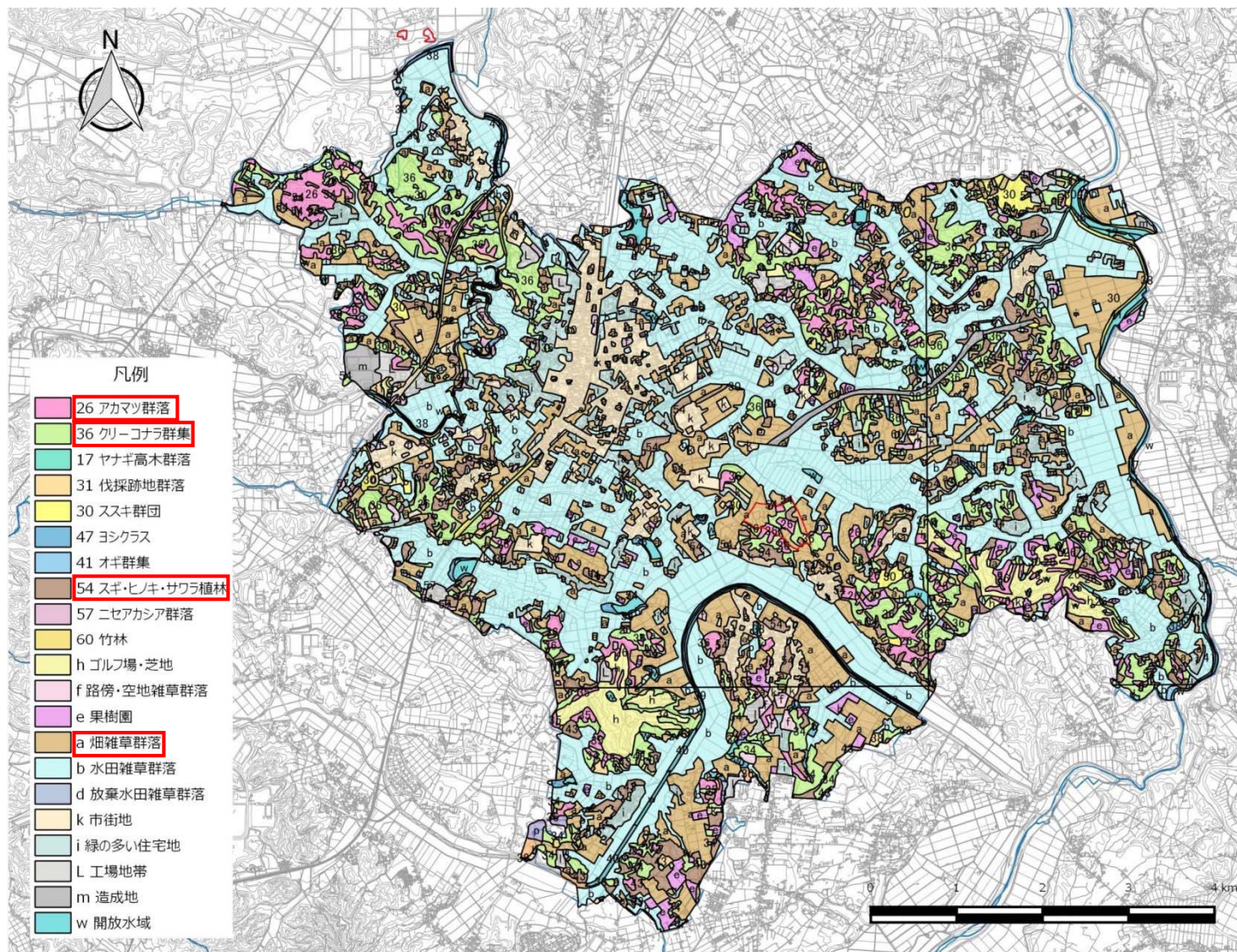


図 2-3-1 矢吹町の植生 (出典：環境省、1/2.5 万現存植生図(平成 11～整備))



## 2-4. 周辺施設

### 1) 公園

大池公園は、ソフトボール場（1面）、あゆり池等を備えた総合公園である。

中心部に街区公園が5箇所ある。

表 2-4-1 公園

	名称	分類	面積(m <sup>2</sup> )	主な施設
1	大池公園	総合公園	19,400	ソフトボール場1面、あゆり池
2	大林公園	街区公園	2,215	
3	小松公園	街区公園	1,529	
4	ひまわり公園	街区公園	1,295	
5	新町公園	街区公園	1,475	
6	小池公園	街区公園	2,000	
7	三城目農村公園	農村公園	7,144	
8	神田農村公園	農村公園	1,458	
9	田内農村公園	農村公園	3,500	

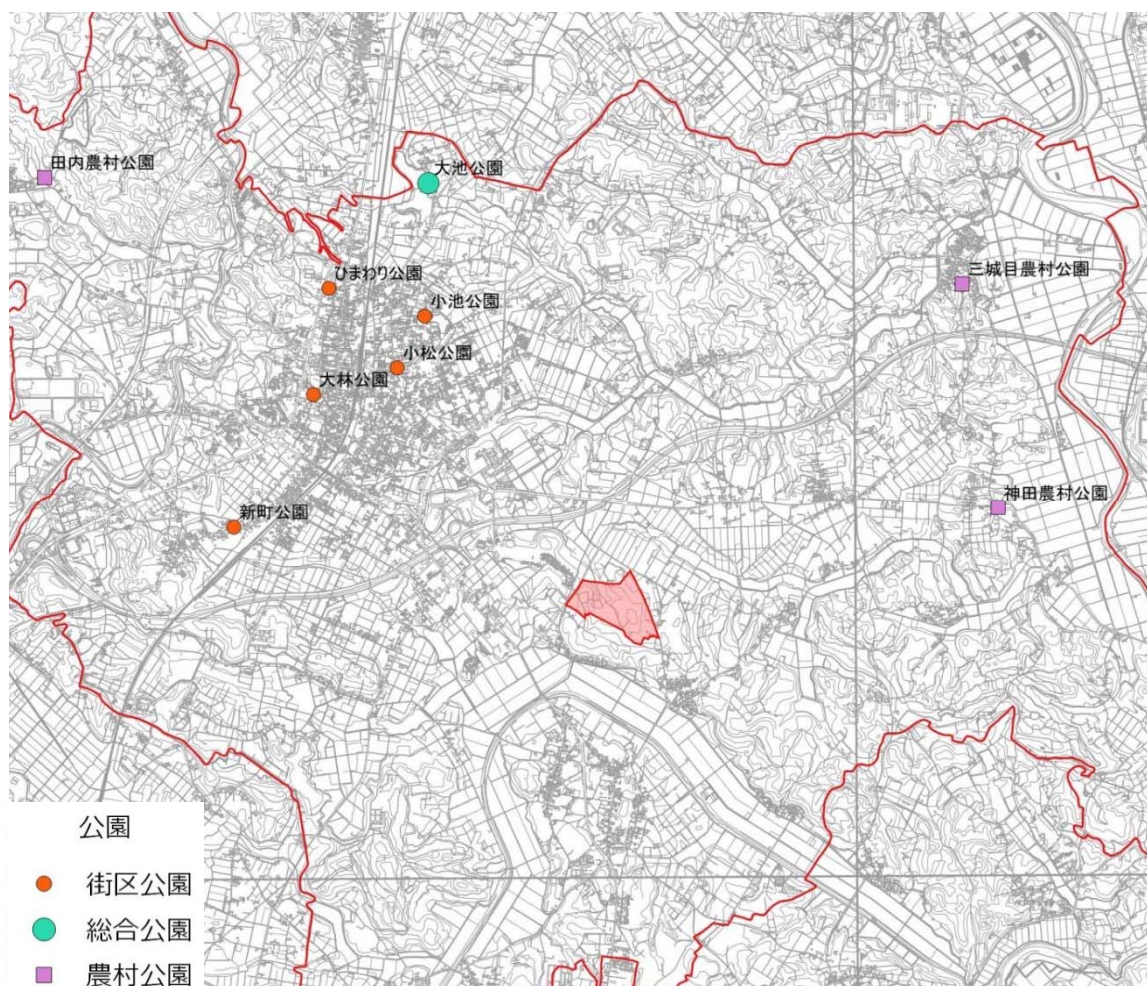


図 2-4-1 公園

(出典：国土交通省、国土数値情報(公園データ、平成 23 年度))



## 2)文化・コミュニティ施設

文化・コミュニティ施設は中心部に集中している。ふるさとの森芸術村は指定管理者の自主運営・自主企画により、震災後に落ち込んだ利用者数が回復している。なお、複合施設基本構想では中央公民館と図書館は統合されることになっている。

表 2-4-2 文化・コミュニティ施設

	名称	敷地面積 (㎡)	施設面積 (㎡)	施設内容
1	(仮称)矢吹町複合施設	約6,200		地域交流センター(中央公民館)、図書館、観光交流センター、子育て世代活動支援センター
2	文化センター	22,909	3,426	大ホール、小ホール
3	矢吹町コミュニティプラザ	1,125	425	コミュニティルーム、自由通路、展示コーナー、ステージ、イベント広場
4	図書館	2,520	606	約65,000冊の蔵書 児童コーナー、一般閲覧室、学習研修室、談話
5	ふるさとの森芸術村	11,419	740	ふるさとの館、あゆり館、陶芸の館、創作の館
6	中央公民館	3,417	1,162	1F:和室・仲良し談話室・会議室調理実習室・展示室
7	中畑公民館	6,108	997	イベント講義室・図書室・研修室・生活改善室調理実習室・多目的ホール・会議室・生活相談室
8	三神公民館	2,597	874	軽運動場・研修室・生活改善室・会議室・生活相談室・図書室

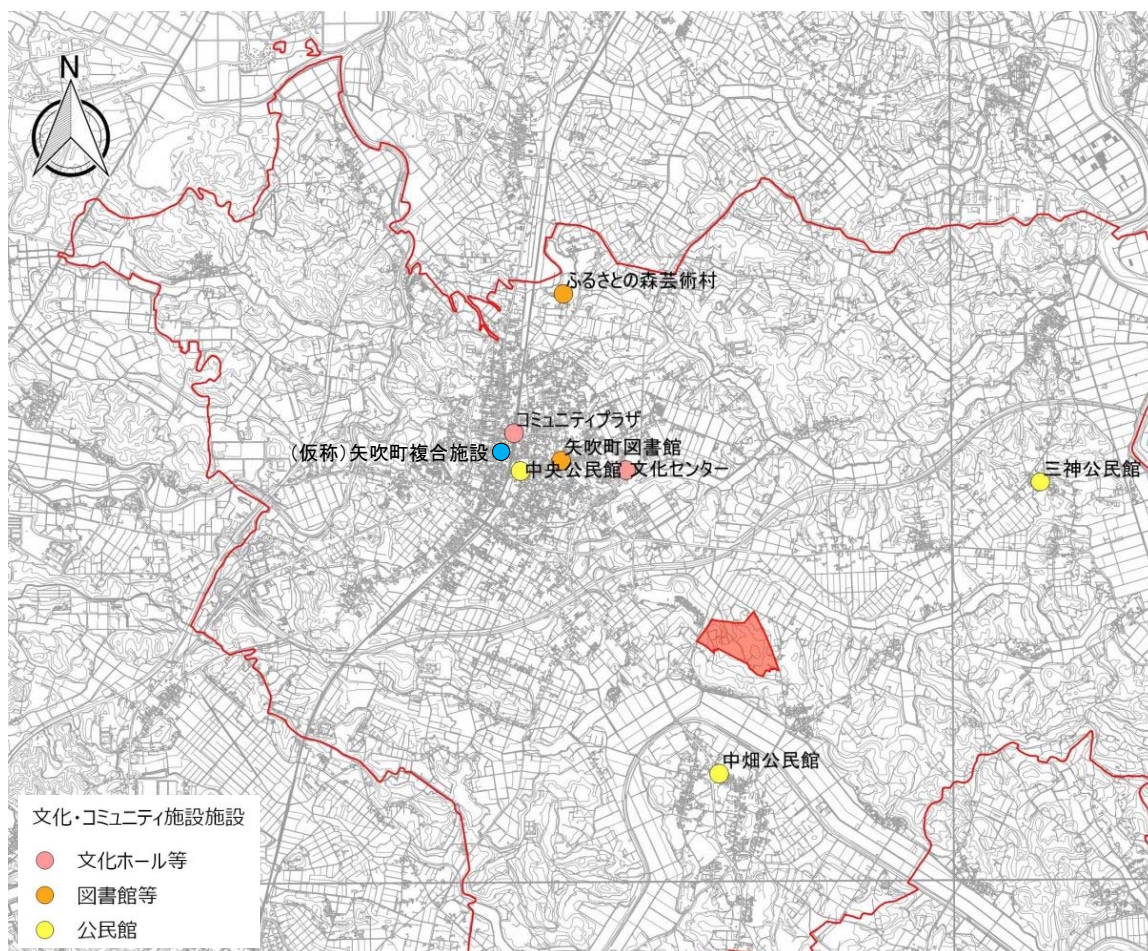


図 2-4-2 文化・コミュニティ施設

(出典：国土交通省、国土数値情報(文化施設データ、平成 25 年度))

### 3) スポーツ・レクリエーション施設

町内では、矢吹町体育協会を中心に各種のスポーツ団体が活発に活動している。しかし施設は町内に分散しており各施設の規模も小さく、学校施設も利用するなど、各種大会の開催等には苦慮しているところである。年々増加するスポーツ人口、イベントに対応するため、運動施設の充実が望まれる。

なお、旧公園用地は矢吹中学校に近く、クラブ活動などの学校教育との連携も視野に入れることも一考である。

表 2-4-3 社会体育施設

	名称	施設内容
1	矢吹球場	両翼92メートル、中堅線113メートルの野球場
2	大池球場	ナイター照明、芝生広場
3	矢吹町勤労者体育館	家庭バレーボール・バトミントンならば2面、バスケットボールならば1面が利用できる
4	町民テニスコート	全天候型テニスコート(4)、ナイター照明
5	大池キャンプ場	大池公園内:トイレ、炊事用かまど
6	町営相撲場	相撲場
7	温水プール	25mプール(水深125cm~135cm 6コース)、 幼児プール(水深65cm~70cm)、
8	屋内外運動場 (未来くるやぶき)	屋内:エアトラック、クライミングウォール、ベビーゾーン 屋外:フットサルコート
9	あゆり温泉	温泉、レストラン

表 2-4-4 主要学校体育施設

	名称	児童・生徒数	施設内容
1	矢吹小学校	227(H25現在)	グラウンド、体育館、25mプール
2	善郷小学校	459(H25現在)	グラウンド、体育館、25mプール
3	中畑小学校	141(H25現在)	グラウンド、体育館、25mプール
4	三神小学校	122(H25現在)	グラウンド、体育館、25mプール
5	矢吹中学校	507(H25現在)	グラウンド、体育館、25mプール
6	福島県立光南高等学校	644(H28現在)	グラウンド、体育館、25mプール、武道館、テニスコート(2)



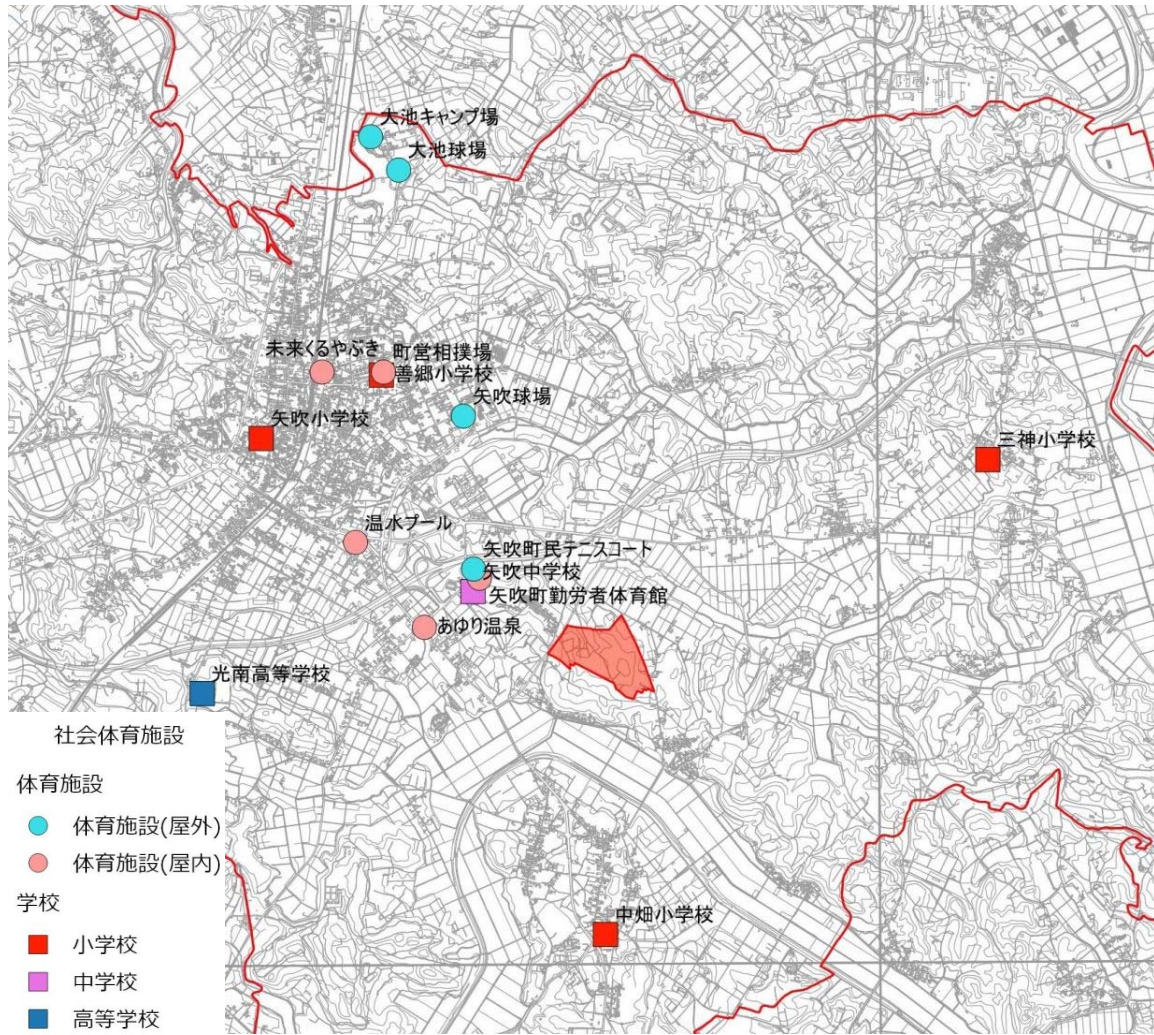


図 2-4-3 スポーツ・レクリエーション施設

(出典：国土交通省、国土数値情報(文化施設、学校データ、平成 25 年度)



#### 4) 病院・社会福祉施設

医療技術等の進歩で長命な高齢者が増え、それに伴って高齢者介護施設等は増加傾向にある。一方で、昨今では健康寿命についての関心も高まっている。病院や社会福祉施設等も施設内にとどまらず、外部とのつながりを模索する、あるいは予防医療のための活動を展開するなど、直接的な医療や介護以外の取組を進めることが今後重要になってくると思われる。

表 2-4-5 病院の状況

	名称	管理主体	診療科目
1	西白河病院	個人	精神科, 心療内科, 内科
2	県立矢吹病院	福島県	精神科, 内科
3	財団法人 会田病院	法人	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 外科, 呼吸器外科, 消化器外科, 整形外科, 形成外科, 精神科, 皮膚科, 麻酔科, 脳神経外科, 泌尿器科, 婦人科, 眼科, リハビリテーション科
4	松崎医院	個人	内科, 小児科
5	すずきクリニック	法人	内科, 消化器科, 循環器科, 小児科, 外科, 整形外科
6	樋口小児クリニック	個人	小児科, 内科
7	小針医院	法人	内科, 小児科, 放射線科
8	きたむら整形外科	個人	整形外科, リハビリテーション科, リウマチ科, 内科
9	おおほりクリニック	個人	内科, 胃腸科, 外科
10	渡部医院	法人	内科, 胃腸科, 外科, 整形外科, リハビリテーション科
11	(特養)寿光園診療所		

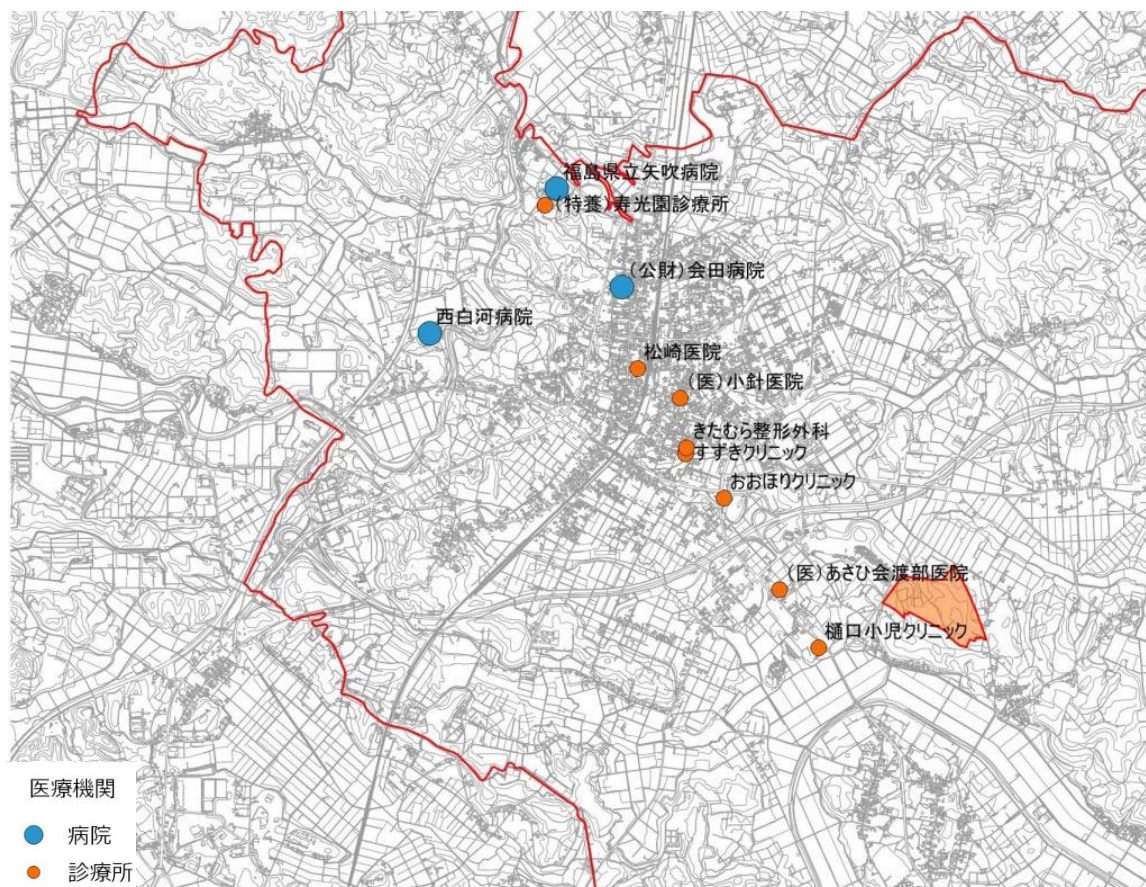


図 2-4-4 病院

(出典：国土交通省、国土数値情報(医療機関データ、平成 26 年度)



表 2-4-6 社会福祉施設の状況

	名称	施設内容
1	中央幼稚園	幼稚園
2	中畑幼稚園	幼稚園
3	三神幼稚園	幼稚園
4	矢吹幼稚園	幼稚園
5	聖和幼稚園	老人福祉施設(老人保健施設)
6	矢吹町ひかり保育園	保育所
7	あさひ保育園	保育所
8	認定こども園 ポプラの木	児童福祉施設
9	介護老人保健施設ほのぼの	老人福祉施設
10	さかえハートホーム矢吹	老人福祉施設(グループホーム)
11	特別養護老人ホーム寿光園	老人福祉施設
12	デイサービスセンター寿光園	老人福祉施設
13	介護老人保健施設 プロヴィデンス	老人福祉施設(老人保健施設)
14	矢吹町デイサービスセンター	老人福祉施設
15	矢吹町老人福祉センター	老人福祉施設(老人福祉センター、あゆり温泉)
16	グループホーム みらい	老人福祉施設(グループホーム)
17	グループホーム ほうすい	老人福祉施設(グループホーム)
18	グループホーム あゆりの里	老人福祉施設(グループホーム)
19	矢吹緑風園	身体障害者更生援護施設(救護施設)
20	福島県矢吹しらうめ荘	身体障害者更生援護施設(障害者支援施設)
21	ワーキングやぶき	その他の社会福祉施設
22	矢吹町地域包括支援センター	その他の社会福祉施設
23	矢吹授産場	その他の社会福祉施設
24	共同生活事業所やぶき	その他の社会福祉施設
25	(医)櫻仁会グループホーム	その他の社会福祉施設
26	矢吹授産場	その他の社会福祉施設
27	グループホームあすなろ	その他の社会福祉施設
28	福島県矢吹しらうめ荘	その他の社会福祉施設
29	福島県やぶき自立支援寮	その他の社会福祉施設(宿泊型自立訓練事業所)
30	ワーキング花咲	その他の社会福祉施設
31	あゆり工房	その他の社会福祉施設

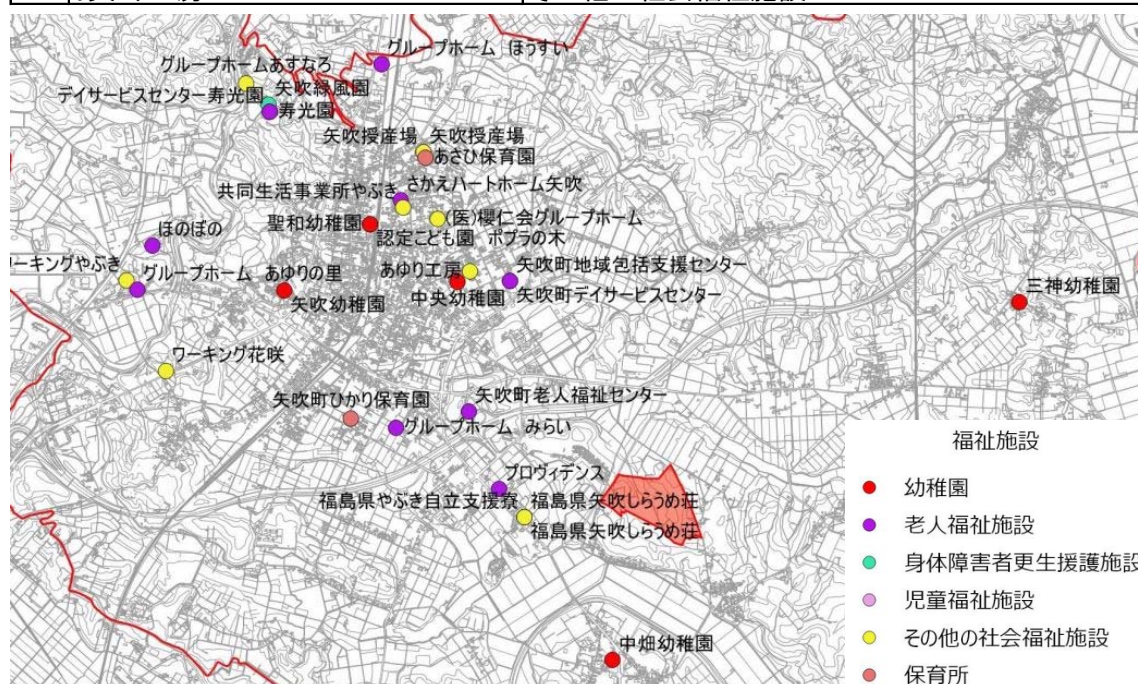


図 2-4-5 社会福祉施設

(出典：国土交通省、国土数値情報(福祉施設データ、平成 27 年度)

### 3. スポーツ・レクリエーションを取巻く状況

#### 3-1. 矢吹町のスポーツ関連組織や行事

##### 1) スポーツ関連組織

町の子どもたちのスポーツの戦績は素晴らしく、これらは学校の部活動の他、町のスポーツ組織や団体が活発に活動していることの成果といえる。町内のスポーツ少年団は以下のとおりである。

表 3-1-1 スポーツ少年団

スポーツ少年団	種目	活動場所
矢吹スポーツ少年団	ソフトボール	矢吹小学校校庭
	ミニバスケットボール	矢吹小学校体育館
善郷ソフトボールスポーツ少年団	ソフトボール	善郷小学校校庭
中畑スポーツ少年団	ソフトボール	中畑小学校校庭
三神スポーツ少年団	ソフトボール	三神小学校校庭
	ミニバスケットボール	三神小学校体育館
極真カラテスポーツ少年団	空手	門馬道場(八幡町)
矢吹サッカースポーツ少年団	サッカー	善郷小学校校庭
		矢吹小学校体育館
		善郷小学校体育館

※善郷ミニバスケットボール少年団は、矢吹スポーツ少年団と統合したため、現在はなし

また、平成 28 年に、子どもから高齢者、初心者からレベルの高い競技者まで、年齢や体力、性別に関係なく、地域の人々が集い、それぞれの目的、レベルに合わせてスポーツ活動や文化活動を楽しむことができる総合型地域スポーツクラブを目指した矢吹スポーツクラブが設立されている。

表 3-1-2 スポーツクラブ事業（一部抜粋）

	名称	対象	活動場所	詳細
定例教室	スポーツ吹矢教室	一般町民	中畑公民館	腹式呼吸による健康増進
	キッズ遊びの教室	幼児・小学校低学年	中畑公民館	あそびを通じて体の動かし方を習得
	男の専科	男性	中畑公民館	定年後どうしよう？そんな方々への教室を開催
各種教室	キッズダンス教室	小学生	中畑公民館	6～8回 全8回予定
	健康運動教室	一般町民	中畑公民館	仲間と一緒に健康増進、楽しい教室を開催
	かけっこ教室	小学生	善郷小学校	早く走るコツや基本をマスター
	スキー・スケート教室	小学生	未定	未定
	ニュースポーツ体験	一般町民	中畑公民館	新しい競技種目の体験教室

## 2) スポーツ関連行事

町内で行われている主なスポーツ関連行事は以下のとおりである。なお、中畑清旗争奪ソフトボール大会や町長杯の各種大会など町内外で盛り上がるイベントも多く開催されている。

表 3-1-3 主なスポーツ大会

時期	行事名	会場
5月	町民ハイキング	栃木那須マウントジーンズゴヨウツツ ジ群生地ハイキング
5月	荒川博杯ティーボール大会	町営矢吹球場
6月	ミュゼプラチナムチャレンジトーナメント	矢吹ゴルフ倶楽部
6月	町長杯ゲートボール大会	あゆり温泉屋内ゲートボール場
7月	町長杯グラウンドゴルフ大会	町営矢吹球場
8月	中畑清旗争奪ソフトボール大会	町営矢吹球場 他
9月	職場職域ソフトボール大会	町営矢吹球場ほか
10月	中畑地区高齢者親善ゲートボール大会	あゆり温泉屋内ゲートボール場
10月	さわやか健康マラソン大会	役場前スタート・ゴール
11月	9人制バレーボール大会(町民体育祭)	善郷小学校体育館

表 3-1-4 主なスポーツ教室

時期	行事名	対象	会場
7~3月	【矢吹スポーツクラブ事業】かけっこ教室	小学1~6年生	善郷小学校グラウンド
7~8月	矢吹スポーツクラブ事業【キッズダンス教室『ヒップホップダンス』】	小学1~3年生	中畑公民館
8~9月	《矢吹スポーツクラブ》健康体操教室	50歳以上	中央公民館 講義室
9~10月	《矢吹スポーツクラブ》キッズサッカー教室	小学1年生~4年生	善郷小学校グラウンド
9~10月	《矢吹スポーツクラブ》キッズ遊びの教室	幼稚園・保育園児	中畑公民館
9~10月	《矢吹スポーツクラブ》カローリング教室	誰でも可	中畑公民館



### 3-2. 近隣市町村の公園施設概況

当初構想が総合運動公園であったことを踏まえ、近隣市町村において運動公園を含む主な大規模公園の分布を図に示す。

表 3-2-1 近隣市町村の大規模公園

公園名	所在地	面積 (ha)	施設内容
城山公園	白河市	9.50	芝生広場
白河総合運動公園	白河市	11.20	多目的広場、陸上競技場、テニスコート(2)、プール、体育館(2)、スポーツプラザ(フットサルコート、エクササイズ)
しらかさの森スポーツ公園	白河市	19.32	野球場(2)、多目的広場、テニスコート(12)、ゲートボール場
大信総合運動公園	白河市	5.88	多目的グラウンド、野球場、プール、テニスコート、トレーニングセンター
東風の台運動公園	白河市	17.41	プール、多目的グラウンド、テニスコート、体育館、弓道場、バーベキューハウス、キャンプ場
さつき公園	泉崎村	14.60	体育館、野球場(2)、ソフトボール球場(2)、陸上競技場、テニスコート(4)、弓道場、プール、国際サイクリングスタジアム
石川町総合運動公園※1)	石川町	13.42	総合体育館、多目的広場(ソフトボール2面、ゲートボール15面可)
鳥見山公園	鏡石町	18.00	野球場、テニスコート(全天候型)、多目的広場(人工芝・サッカー：一般用1面、ジュニア用2面)、陸上競技場、体育館、プール、構造改善センター(体育館、トレーニングジム)
牡丹台公園	須賀川市	18.10	野球場、テニスコート(8)、体育館、プール
翠ヶ丘公園※2)	須賀川市	28.34	芝生広場、大型複合遊具、等
福島空港公園	須賀川市	52.10	多目的運動広場、フットサルコート、テニスコート、日本庭園、花木園

※1) 計画面積：37.00ha

※2) 計画面積：29.90ha

( )内数字は、施設数

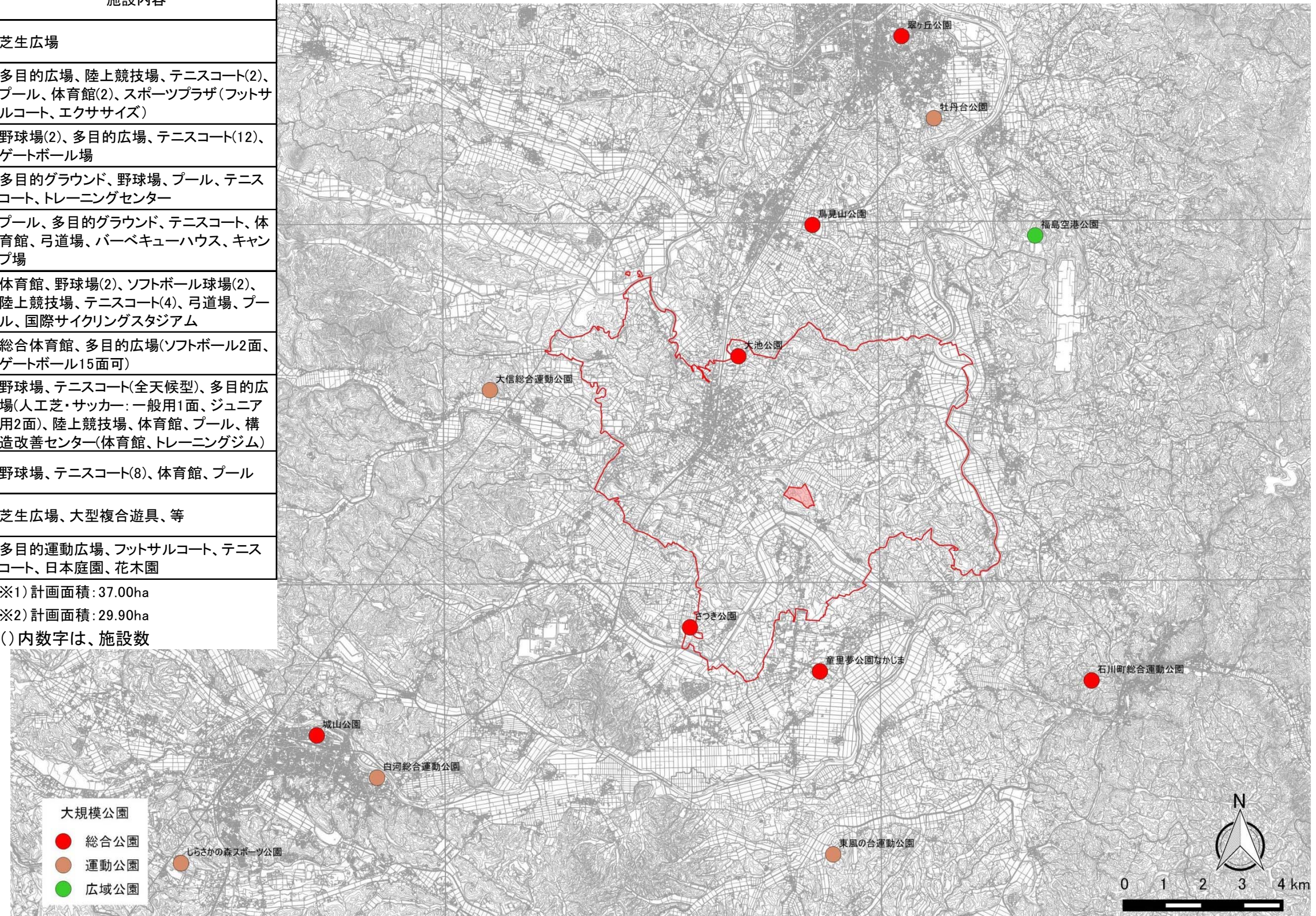


図 3-2-1 近隣市町村の大規模公園 (出典：国土交通省、国土数値情報(公園データ、平成 23 年度))



## 4. 旧公園用地の把握

### 4-1. 地形

- ・4箇所の平地部がある。
- ・比較的緩やかな斜度の地形となっている。

写真③ 南平地部（北側から南方向）



写真④ 東平地部（北側から南方向）



写真① 西平地部（南側から北方向）  
北方向への眺望が望める



写真② 中央平地部（北側から南方向）



図 4-1 現況特性図



#### 4-2. 植生

植生は、ナラ、クリ、クヌギを主とする雑木林となっている。

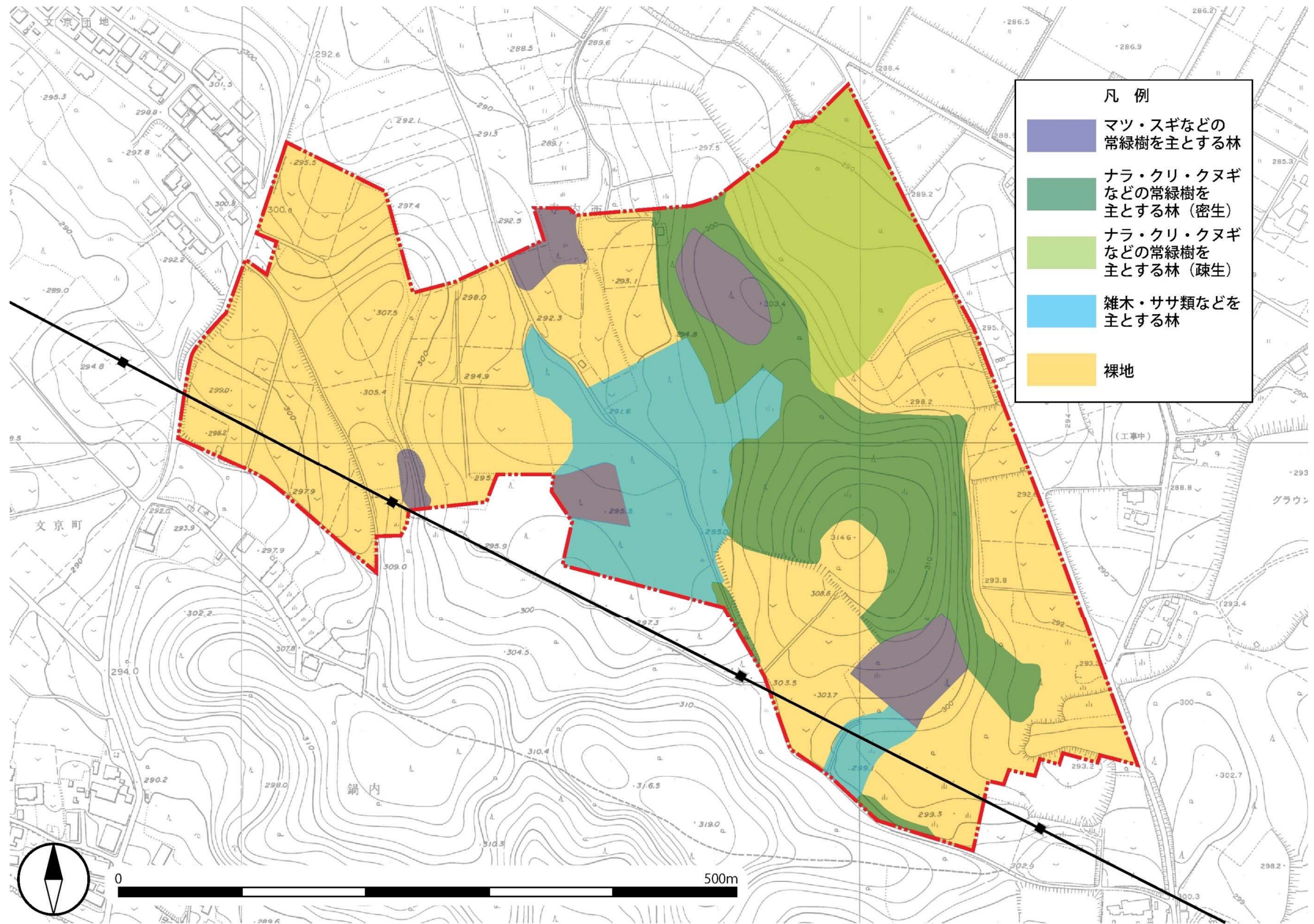
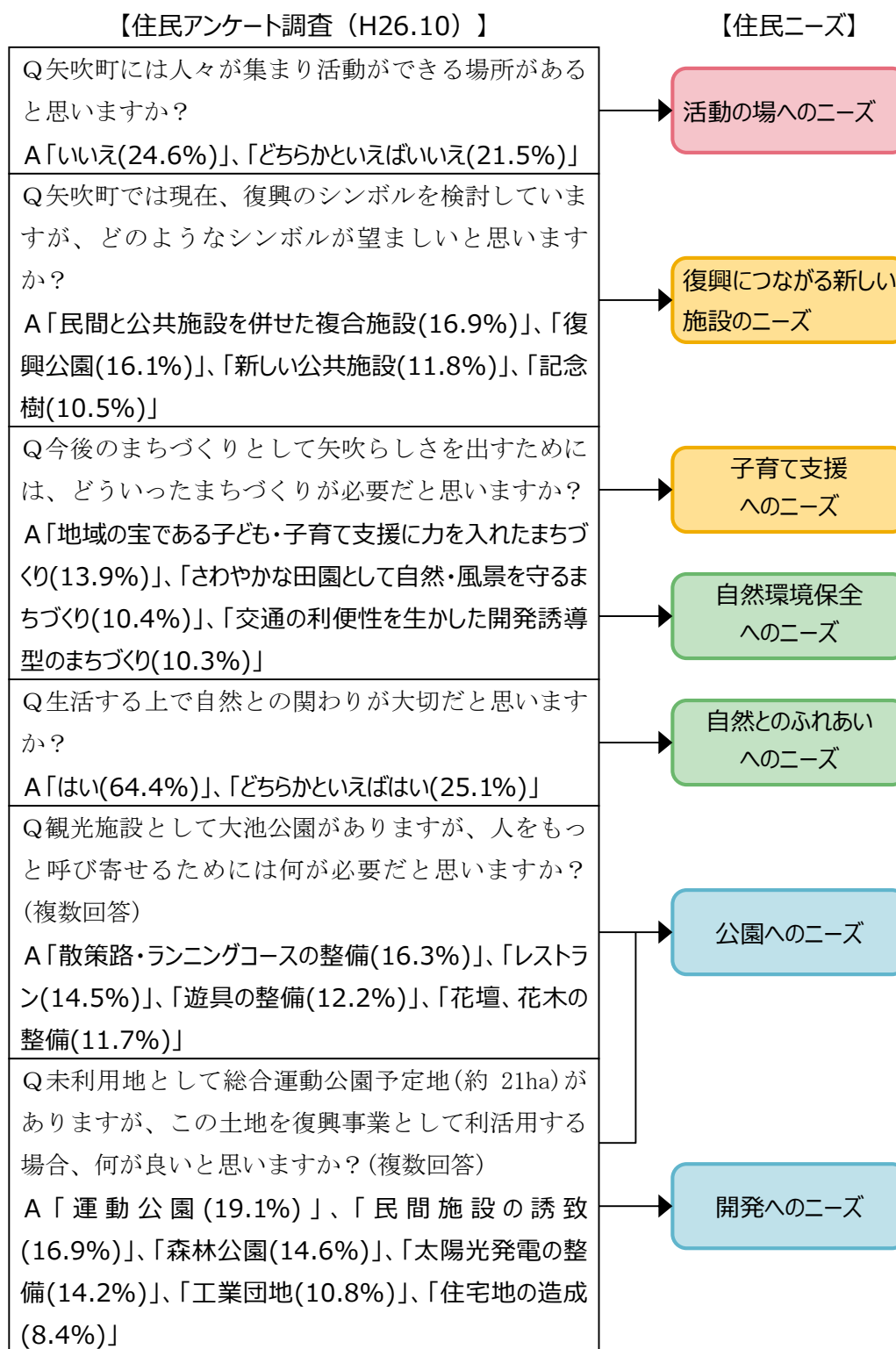


図 4-2 植生図

## 5. 旧公園用地活用のコンセプトと検討方針

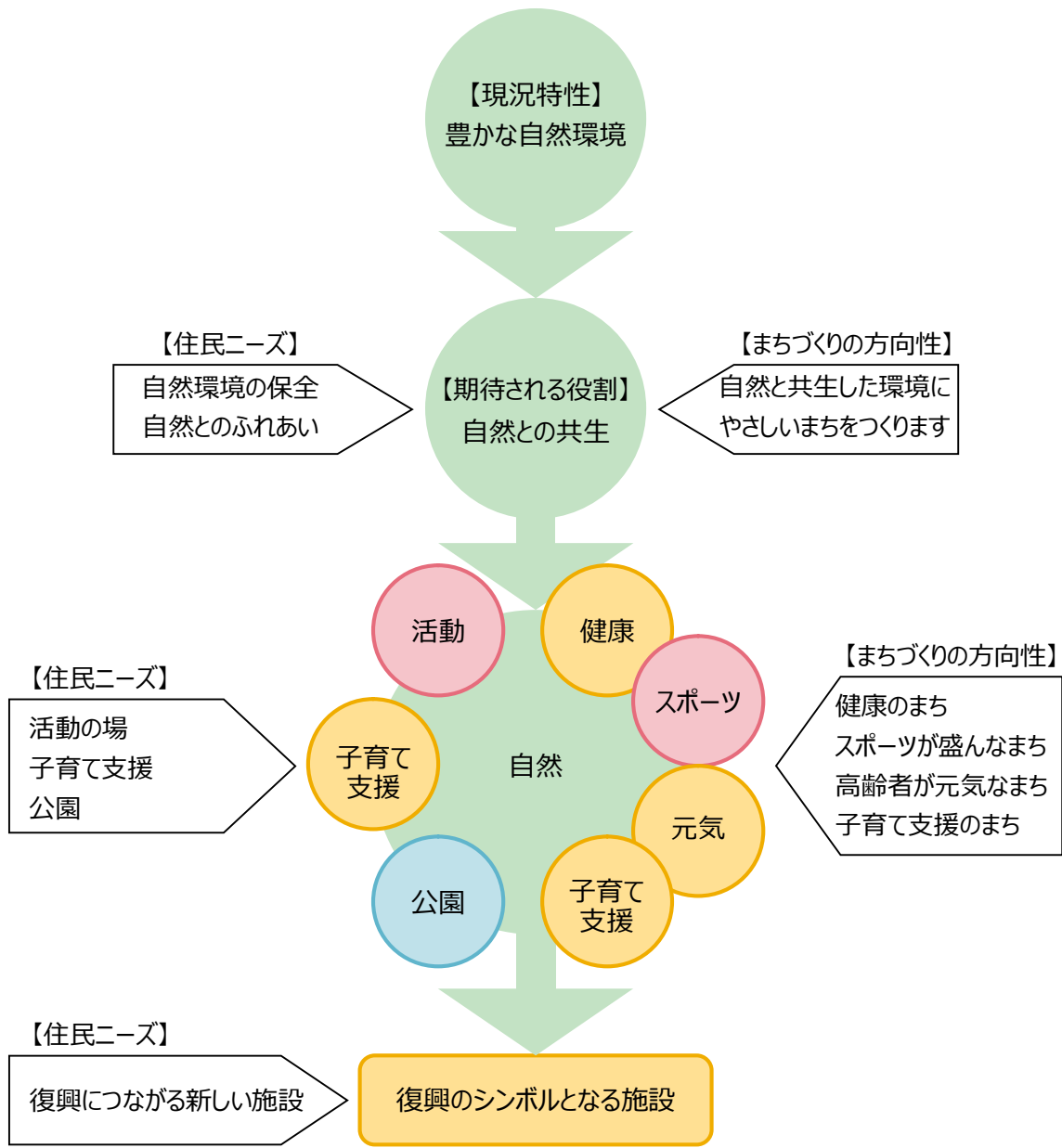
### 5-1. コンセプト

矢吹町の将来計画と復興に関する住民アンケート調査 (H26. 10) から住民のニーズを抽出する。





住民のニーズと総合計画におけるまちづくりの方向性の共通項から、旧公園用地の特性を活かして期待される役割を「自然環境との共生」とする。自然環境の保全を図りつつ自然を活かして、住民のニーズやまちづくりの方向性から導き出されるキーワードを具現化する施設を目指し、コンセプト案を以下の通りとする。



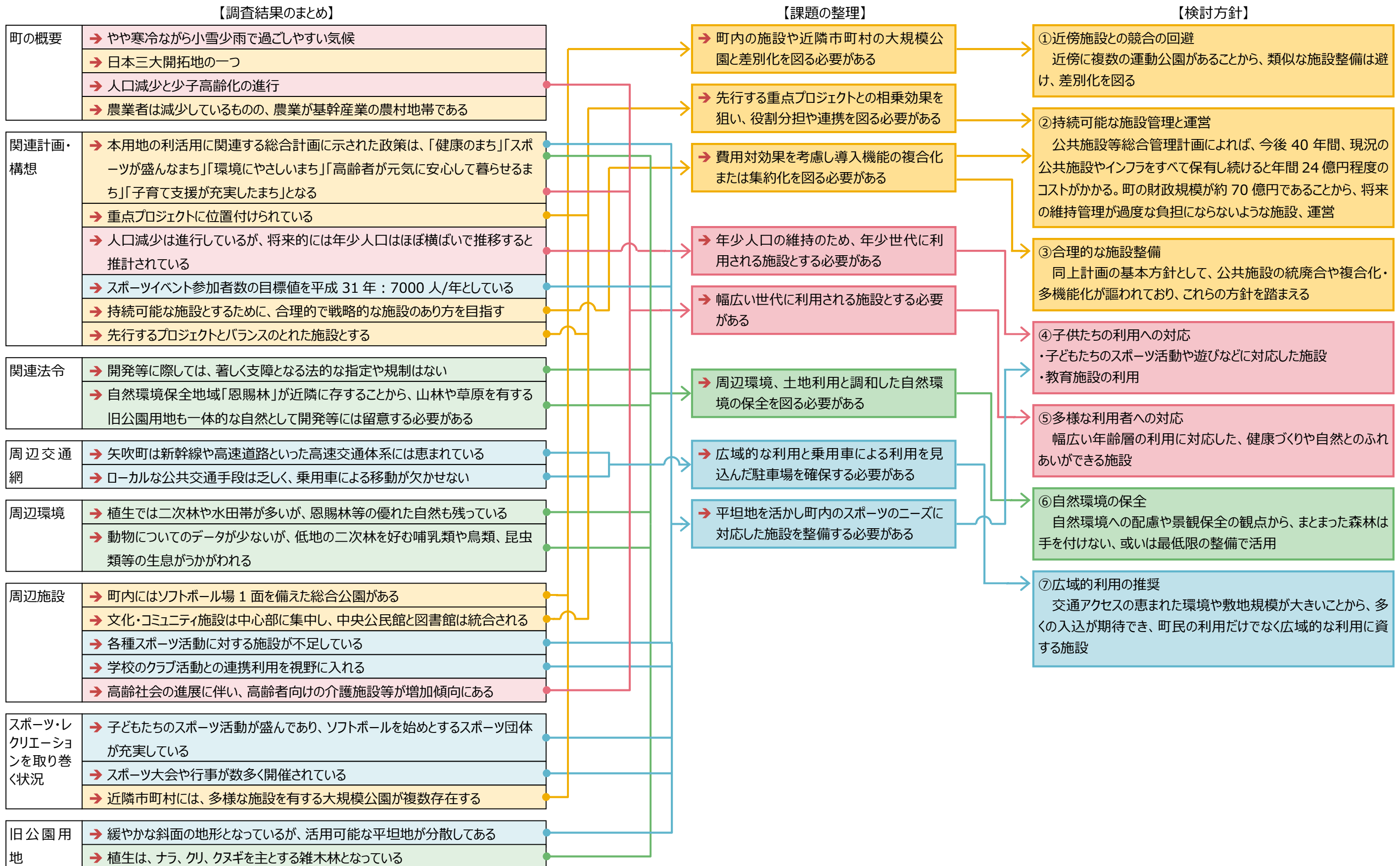
### 【コンセプト案】

- A案：豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設
- B案：自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設
- C案：町内外の人々が集い、きずなを深め、暮らしを豊かにする復興のシンボル



5-2. 課題の整理と検討方針

第1～4章の調査結果をまとめ、課題を整理し、検討方針を以下の通りとする。



5-3. 導入施設の抽出

検討方針を踏まえて、コンセプト案毎に導入が考えられる施設を抽出する。

表 5-3-1 導入施設の検討

検討方針	コンセプト案	導入施設		
		A案：豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設	B案：自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設	C案：町内外の人々が集い、きずなを深め、暮らしを豊かにする復興のシンボル
①近傍施設との競合の回避		● 林間遊具	● 林間遊具	● フォレストアドベンチャー
②持続可能な施設管理と運営		● 建物は極力設置しない		
③合理的な施設整備		● 地形や自然環境を活かした整備	● 小学校の統合 ● 認定こども園	● 地形や自然環境を活かした整備
④子供たちの利用への対応		● ソフトボール、野球、サッカー、陸上などができる多目的広場	● ソフトボール、野球、サッカー、陸上などができる多目的広場 ● 林間広場 ● 自然学習	● ソフトボール、野球、サッカー、陸上などができる多目的広場
⑤多様な利用者への対応		● クロスカントリーコース ● BMXコース ● ドッグラン	● 遊歩道	● キャンプ場 ● 体験農園 ● 田園風景を一望する展望施設
⑥自然環境の保全		● (森林の保全)		
⑦広域的利用の推奨		● 花畑	● 花畑	● 花畑 ● 直売所



BMXコース

大小の異なるこぶや、バームと呼ばれるコーナーなど、数々の障害物が設けられたコース



フォレストアドベンチャー

1997年フランス発祥のアウトドアスポーツ。森の中の樹木をそのまま利用して造られた自然共生型アスレチック



5-4. ゾーニング計画

地形特性に基づきゾーニングを行い、ゾーン毎に導入可能な施設を示す。

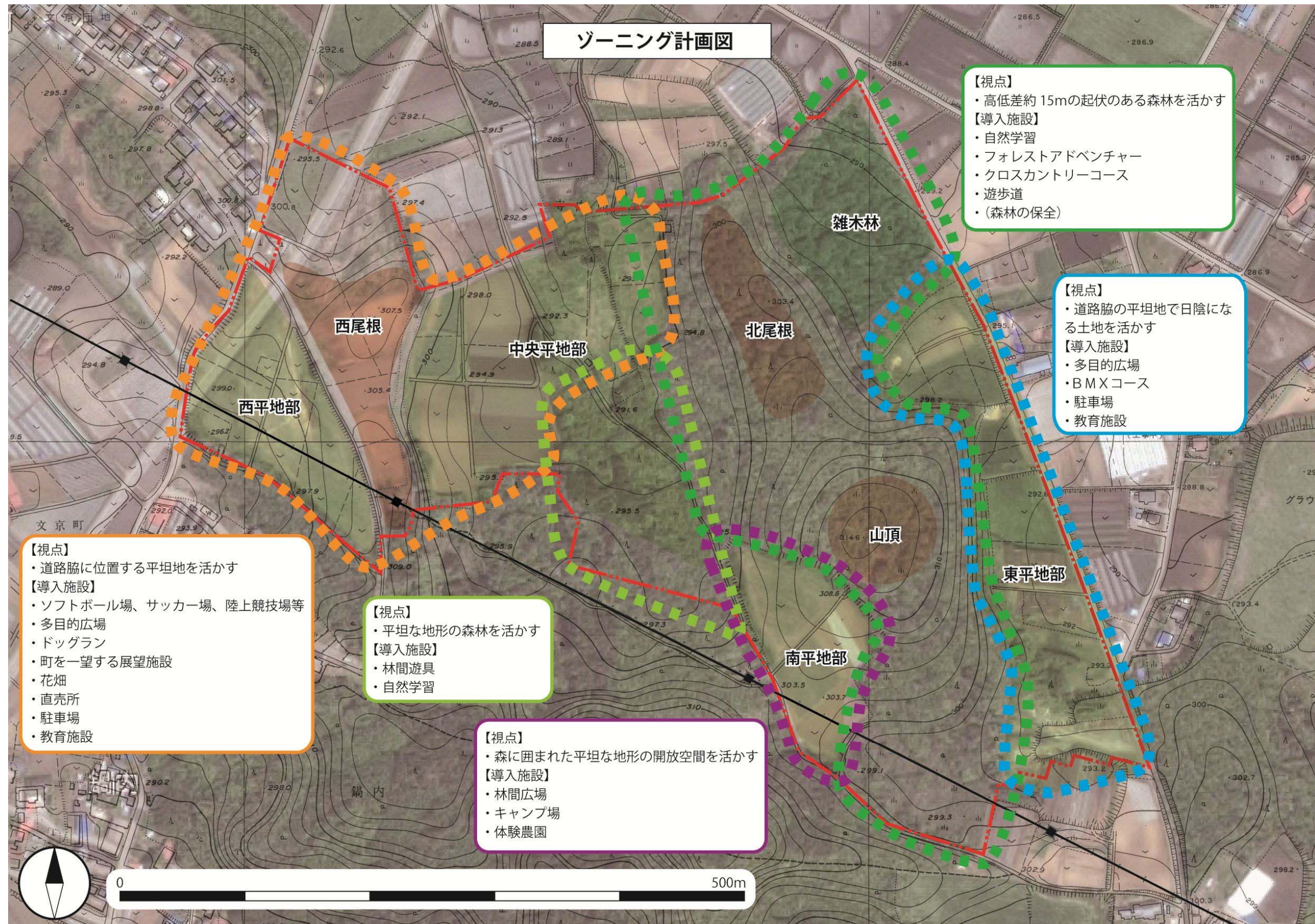


図 5-4-1 ゾーニング図



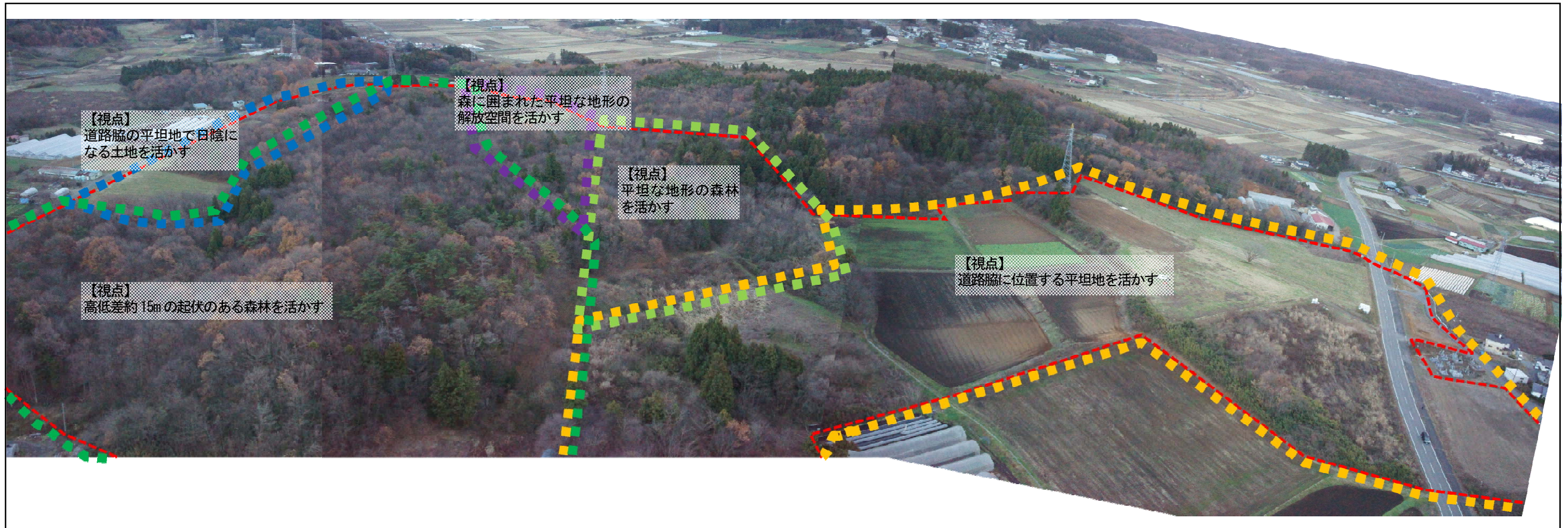


図 5-4-2 上空からのゾーニング図



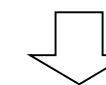
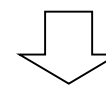
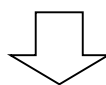
## 6. 導入施設の検討

### 6-1. 導入施設の整理

「5-3. 導入施設の抽出」を踏まえて、導入施設を整理する。

表 6-1-1 導入施設の整理

検討方針	導入施設		
	コンセプト案	A案：豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設	B案：自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設
①近傍施設との競合の回避	● 林間遊具	● 林間遊具	● フォレストアドベンチャー
②持続可能な施設管理と運営	● 建物は極力設置しない		
③合理的な施設整備	● 地形や自然環境を活かした整備	● 小学校の統合 ● 認定こども園	● 地形や自然環境を活かした整備
④子供たちの利用への対応	● ソフトボール、野球、サッカー、陸上などができる多目的広場	● ソフトボール、野球、サッカー、陸上などができる多目的広場 ● 林間広場 ● 自然学習	● ソフトボール、野球、サッカー、陸上などができる多目的広場
⑤多様な利用者への対応	● クロスカントリーコース ● BMXコース ● ドッグラン	● 遊歩道	● キャンプ場 ● 体験農園 ● 田園風景を一望する展望施設
⑥自然環境の保全	● (森林の保全)		
⑦広域的利用の推奨	● 花畑	● 花畑	● 花畑 ● 直売所



【検討の視点①】 検討方針のうち、「⑥自然環境の保全」を重視すると利用できる土地が少ないため、抽出した導入施設に優先度をつけて施設を選定する。	①コンセプトは「みんな」がスポーツ等の活動を行える施設であるが、BMXコースは利用者が限られるため優先度が低い。 ②教育施設用地を確保することにより、利用可能な土地が限られてくるため、多くの人々に利用される多目的広場の優先度は高い。 ③よって、BMXコースは不採用とする。	● 抽出した導入施設で検討を進める	● 抽出した導入施設で検討を進める
【検討の視点②】 住民アンケートで利活用ニーズのあった「民間施設の誘致」の可能性について	● スポーツ活動をメインにすることから、スポーツジムやスポーツ系団体の拠点などは、相乗効果が期待できる。	● 子どもたちの遊びや学びをメインにすることから、子育て支援につながる若い親世代を対象とした民間施設の誘致は効果的である。	● フォレストアドベンチャー、キャンプ場、体験農園、直売所は民間による運営が期待できる。

## 6-2. 施設の規模検討

### 6-2-1. 利用形態毎の施設規模の設定

#### 1) 駐車

駐車場の規模は、都市公園利用実態調査（国土交通省）の運動公園から算定する。

#### ①用地面積：22.2haの場合

一日当り利用者数：227人/ha×22.2ha=5,039人

同時在園者数：5,039人×23.9%=1,204人

自動車利用率：100%-10.9%=89.1%

自動車利用者：1,204人×89.1%=1,072人

平均乗員数：2人/台

必要駐車台数：1,072人÷2人/台=536台

駐車場面積：536台×30㎡=16,080㎡

#### ②教育施設用地（6.3ha）を別途考慮した場合

公園用地：15.9ha

一日当り利用者数：227人/ha×15.9ha=3,609人

同時在園者数：3,609人×23.9%=862人

自動車利用率：100%-10.9%=89.1%

自動車利用者：862人×89.1%=768人

平均乗員数：2人/台

必要駐車台数：768人÷2人/台=384台

駐車場面積：384台×30㎡=11,520㎡

#### 2) 教育施設用地

平成28年3月に策定した「矢吹町公共施設等総合管理計画」では、矢吹町が保有する施設のうち、学校教育系施設が44施設、建物の床面積は34,011㎡で最も多く、全体の39.4%を占めており、人口減少、少子化が進む中、施設の維持管理が大きな課題となる。このように将来を見据えた教育施設のあり方を検討する必要があることは明らかだが、現時点では具体的な方向性が示されていないため、ここでは、仮に町内4小学校が統合した場合や認定子ども園等の整備を想定し矢吹町で最大の学校教育施設である矢吹中学校の敷地面積程度の63,000㎡を確保する。

なお、矢吹町の小学校の現在の児童数が、4小学校合計で約919人となるため、小学校設置基準より、校舎4017㎡、運動場7200㎡であるため、体育館等を考慮しても2ha未満で基準を満足する。

#### 【参考：小学校の規模】

・小学校設置基準（平成十四年三月二十九日文科科学省令第十四号）

校舎		運動場	
児童数	面積（㎡）	児童数	面積（㎡）
1人以上40人以下	500	1人以上240人以下	2400
41人以上480人以下	500+5×（児童数-40）	241人以上720人以下	2400+10×（児童数-240）
481人以上	2700+3×（児童数-480）	721人以上	7200

※校舎及び運動場のほか、体育館を備えるものとする。

表 6-2-1 平成 26 年度都市公園利用実態調査

			街区	近隣	地区	運動	総合	広域	国営
平均利用可能面積		ha/ヶ所	0.285	1.416	3.610	21.113	19.525	52.638	92.832
平均入園者数	休日	人	222	811	1,418	4,798	4,090	4,746	12,016
	平日	人	226	686	1,119	3,064	2,424	1,927	5,132
haあたり入園者数	休日	人/ha	779	572	393	227	209	90	127
	平日	人/ha	795	484	310	145	124	37	38
平均在園時間※1		時間	0.71	1.04	1.15	2.14	1.41	2.05	2.28
平均在園時間※2	休日	時間	1.30	1.44	1.41	1.89	2.07	2.99	2.73
	平日	時間	1.09	1.09	1.26	1.19	1.45	2.39	1.50
平均到達時間※3		分	13.3	17.3	18.3	25.9	31.7	43.3	67.4
80%到達時間※4		分	19.0	24.1	25.0	41.2	42.7	73.0	116.1
平均来園頻度※5		回/月	9.7	9.7	9.4	6.6	6.9	4.8	0.8
リピーター率		%	89.9	90.5	91.9	92.4	88.1	85.9	69.1
平均誘致圏人口		人	2,967	6,950	18,287	-	-	-	-
平均誘致圏若年人口		人	396	906	2,158	-	-	-	-
平均誘致圏老年人口		人	653	1,571	4,502	-	-	-	-
公園利用率	休日	%	7.9	11.9	8.5	-	-	-	-
	平日	%	8.2	10.3	6.7	-	-	-	-
若年公園利用率	休日	%	15.5	16.1	10.2	-	-	-	-
	平日	%	16.2	10.6	7.5	-	-	-	-
老年公園利用率	休日	%	5.2	10.1	5.7	-	-	-	-
	平日	%	5.8	10.3	5.4	-	-	-	-
徒歩・自転車利用率		%	79.8	67.2	65.1	39.1	38.8	21.4	8.2
自転車利用率		%	21.0	18.3	17.7	10.9	10.5	8.7	5.0

単位: %

時間		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	総入園者数 (人)
街区公園	休日	3.7	4.2	5.0	7.1	9.8	10.2	9.9	11.7	12.5	13.7	13.9	10.8	10.4	7.0	11,536
	平日	4.2	4.6	5.3	6.7	8.5	8.8	7.9	8.5	8.8	11.6	11.7	9.0	8.5	4.7	11,992
近隣公園	休日	2.3	3.6	5.3	8.3	11.8	12.2	12.5	14.2	15.5	15.7	13.1	10.9	10.4	8.2	38,102
	平日	2.2	3.2	5.0	7.5	9.1	8.7	8.6	8.4	10.0	10.8	11.2	9.6	8.3	6.1	32,931
地区公園	休日	4.1	5.2	7.1	9.2	11.9	12.2	12.4	13.8	14.0	13.7	12.4	9.4	8.7	6.6	60,969
	平日	3.7	3.9	5.5	7.9	9.5	10.9	10.8	12.1	10.3	11.9	12.6	11.0	9.4	6.3	48,125
運動公園	休日	2.9	8.2	15.2	19.8	22.4	23.4	23.9	23.5	20.4	13.7	8.1	3.9	2.3	0.9	163,147
	平日	1.3	3.0	7.4	10.3	13.3	12.3	12.7	12.5	10.9	8.9	7.9	7.2	7.2	4.3	104,179
総合公園	休日	4.2	6.2	9.8	14.0	18.7	20.9	22.1	24.2	24.6	20.8	14.4	10.9	10.1	6.0	192,229
	平日	5.3	6.1	7.5	10.8	13.9	14.0	14.3	14.7	14.3	13.5	11.1	8.6	8.0	2.9	113,913
広域公園	休日	5.8	11.0	17.9	24.7	30.5	34.2	35.8	36.2	34.7	26.4	17.9	11.1	9.4	4.0	132,893
	平日	3.1	5.7	16.7	22.7	27.3	27.8	28.4	26.1	24.8	17.5	13.2	10.1	9.8	6.1	53,958
国営公園	休日	0.1	0.2	1.5	10.4	20.2	37.4	41.7	42.8	40.4	30.8	17.1	11.4	9.6	9.4	204,265
	平日	0.1	0.3	2.9	12.4	19.9	24.7	23.3	20.0	20.1	13.9	5.8	3.3	1.9	1.7	87,245
全体	休日	3.1	5.6	9.6	15.3	20.8	26.6	28.4	29.3	28.0	21.9	14.2	9.5	8.2	5.6	803,141
	平日	2.7	3.7	7.3	11.8	15.6	16.5	16.4	15.7	15.0	12.6	9.8	7.8	7.0	4.0	452,343

### 3) ソフトボール・野球

ソフトボール及び野球を行うのに必要な規模は、「屋外体育施設の建設指針（財団法人日本体育施設協会）」により、下記の通りとする。

表 6-2-2 野球場の大きさ（出典：屋外体育施設の建設指針）

		P. ~HB	各塁間	HB~ バックネット	HB~ レフト・ライト	HB~ センター	面積 (グラウンド)
硬式野球	プロの野球場	①18.44m	②27.43m	③18.29m以上	④99.06m以上	⑤121.92m以上	≒14,000㎡~
	公認野球場	同上	同上	同上	97.53m以上	同上	≒13,500㎡~
軟式野球	社会人	同上	同上	同上	91.44m以上	115.82m以上	≒10,500㎡~
	学童	16.00m	23.00m	12.00m以上	70.00m (ラインの場合 71.00)	85.00m (ラインの場合 86.00)	≒6,000㎡~
リトルリーグ		14.02m	18.29m	7.60m	60.95~68.60m	60.95~68.60m	≒4,000㎡~
ソフトボール	男	14.02m	18.29m	7.62~9.14m	68.58m以上	68.58m以上	≒4,500㎡~
	女	13.11m			60.96m以上	60.96m以上	
	小学生	10.67m	16.76m		53.34m以上	53.34m以上	≒3,600㎡~

※ 公認野球場とは「公認野球規則」による優先的に望まれる寸法。

※ 「軟式野球社会人」の寸法は、(財)全日本軟式野球連盟による公認第1種の寸法を掲載。

※ 「軟式野球高校」は「公認野球規則」に準じ、「軟式野球中学」は「軟式野球社会人」に準ずる。

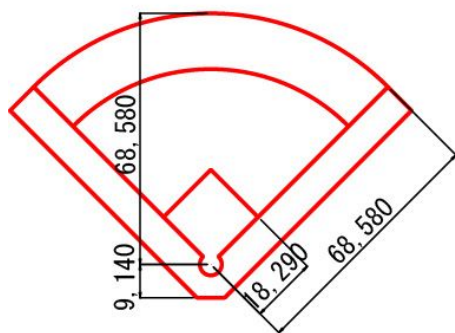


図 6-2-1 ソフトボール場の寸法

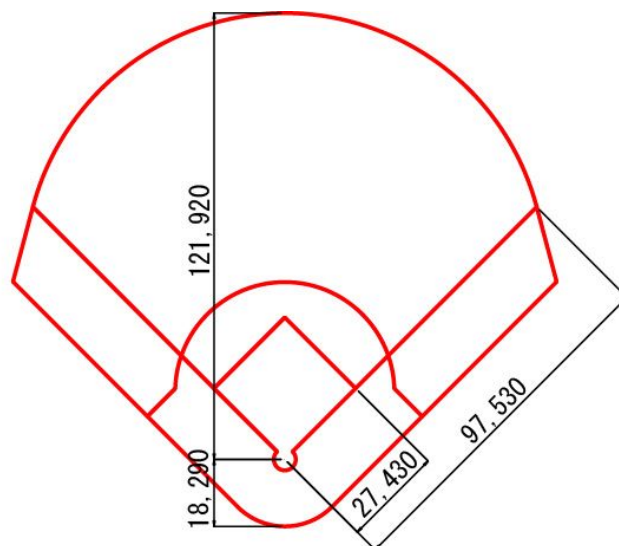


図 6-2-2 野球場の寸法





## 6) 陸上

陸上競技を行うのに必要な規模は、「屋外体育施設の建設指針（財団法人日本体育施設協会）」により、下記の通りとする。

表 6-2-3 トラック基本寸法（出典：屋外体育施設の建設指針）

一周の距離	縁石が走路より 5 cm 高い場合		縁石と走路が同レベルの場合	
	L (m)	R (m)	L (m)	R (m)
200m	32.000	21.346	32.000	21.446
	36.226	20.000	36.540	20.000
	42.509	18.000	42.823	18.000
250m	45.518	25.000	45.832	25.000
	50.000	23.574	50.000	23.674
	55.000	21.982	55.000	22.082
300m	60.000	28.348	60.000	28.448
	65.000	26.757	65.000	26.857
	70.000	25.165	70.000	25.265
350m	70.000	33.123	70.000	33.223
	75.000	31.531	75.000	31.631
	80.000	29.940	80.000	30.040
400m	80.000	37.898	80.000	37.998
	* 84.390	* 36.500	84.704	36.500
	85.000	36.306	85.000	36.406
	90.000	34.715	90.000	34.815

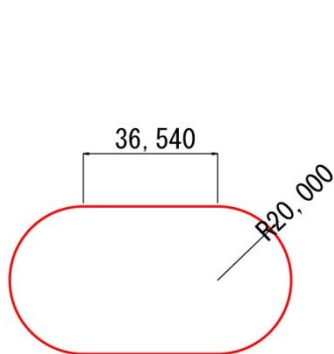


図 6-2-5 1 週 200m トラックの寸法

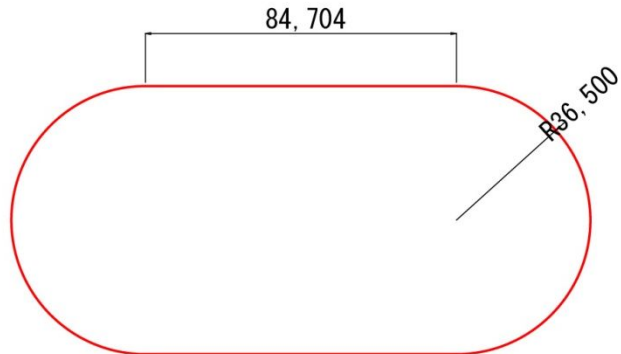
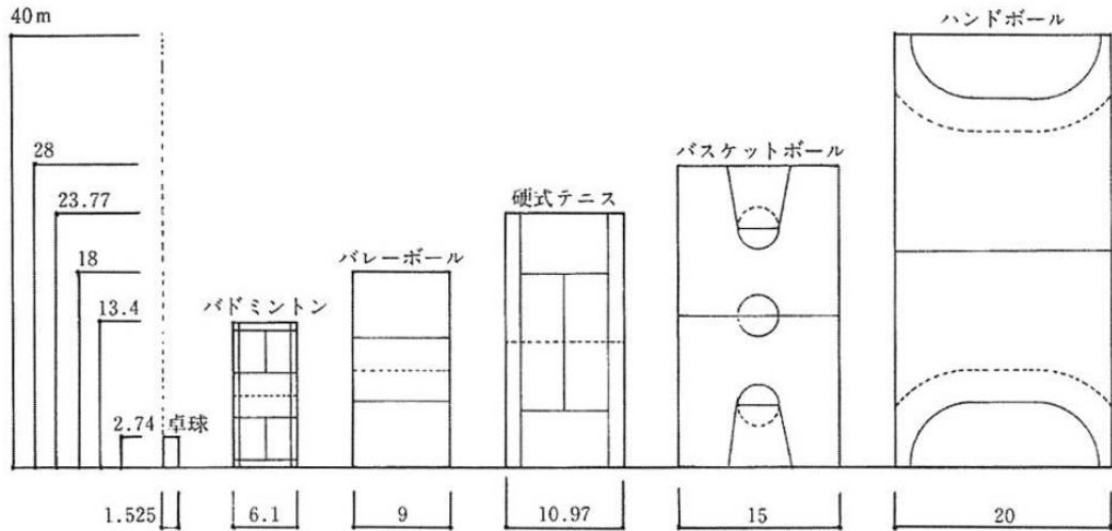


図 6-2-6 1 週 400m トラックの寸法

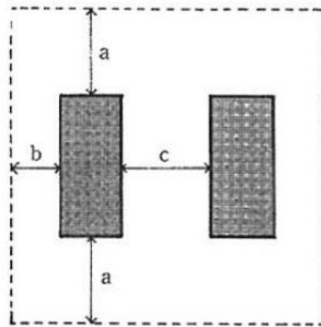


## 7) 屋内スポーツ

屋内スポーツを行うのに必要な規模は、「建築設計資料集成 5（日本建築学会）」により、下記の通りとする。



### ●安全エリア



	a	b	c
卓球	≧5.0~6.0	≧2.5~3.0	≧5.0~6.0
バドミントン	≧2.0	≧3.0	≧3.0
バレーボール	≧3.0~8.0	≧3.0~5.0	4.0~10.0
硬式テニス	6.4~8.0	≧3.6~6.0	6.0
バスケット	≧3.0	≧3.0	≧4.5~5.0
ハンドボール	≧3.0~5.0	≧2.0	≧4.0m

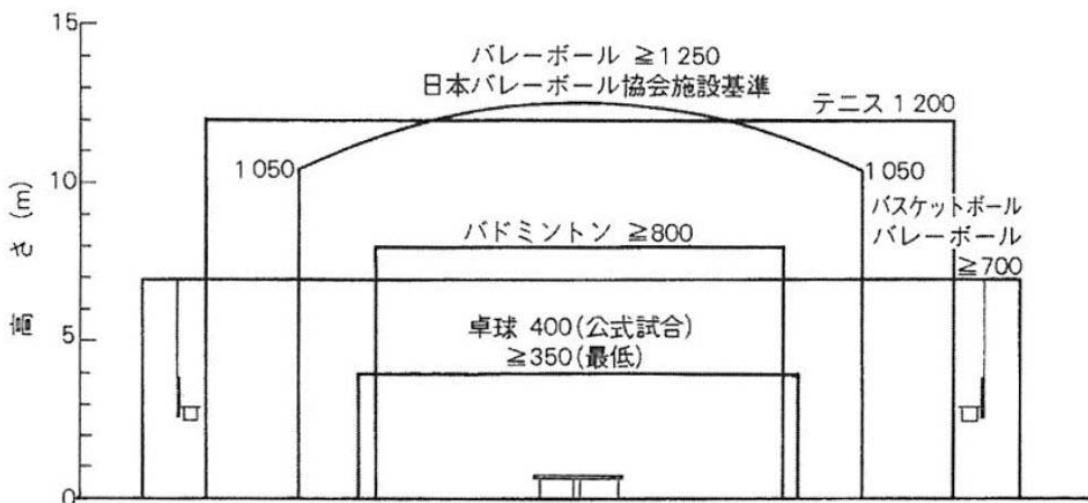


図 6-2-7 屋内スポーツの寸法

## 8) キャンプ場

キャンプ場の規模は、福島県内のキャンプ場のうち、規模が特定できるものから、キャンプ場検索・予約サイトの人気ランキングの上位のものを抽出する。

最も規模の小さい事例はテントサイトが20区画であり、キャンプ場の規模は、テントサイトを50 m<sup>2</sup>、管理棟や通路などの共用部分を同程度見込むと、最低でも

$$20 \text{ 区画} \times 50 \text{ m}^2 = 1,000 \text{ m}^2 \times 2 = 2,000 \text{ m}^2$$

必要と考えられる。

表 6-2-4 福島県内の人気のキャンプ場の規模

名称	所在地	規模	
		テントサイト (区画)	バンガロー 等(棟)
オートキャンプいわしろ高原	二本松市	50	5
羽鳥湖高原レジーナの森 Coleman Camp Ground	天栄村	77	—
ACN あぶくまキャンpland	小野町	40	9
いわき市遠野オートキャンプ場	いわき市	45	8
RVRESORT 猪苗代湖モビレージ	会津若松市	120	4
シルクバレーキャンプ場	南会津町	50	—
会津美里町せせらぎオートキャンプ場	会津美里町	40	—
休暇村裏磐梯キャンプ場	北塩原村	179	
五色パラダイスキャンプ場	北塩原村	30	
霊山こどもの村キャンプ場	伊達市	20	5

## 9) 直売所

「農産物直売所の現状と課題—福島県内の調査から—」によれば、「直売所全体の83%が売り場面積100 m<sup>2</sup>未満」であることから、最低でも100 m<sup>2</sup>が必要と考えられる。

通年営業の直売所は全体の63%で、直売所全体の83%が売り場面積100 m<sup>2</sup>未満であった。また、出荷者30人未満の直売所は全体の70%を占め、その出荷者の65%が60歳以上であった。年間販売額については、5千万円未満の直売所が全体の88%を占めていた。



## 10) フォレストアドベンチャー

フォレストアドベンチャーには、身長 110 c m以上が対象のディスカバリーコースと小学 4 年生以上が対象のアドベンチャーコースがあり、様々なアクティビティが連続する線状の配置となっている。

フォレストアドベンチャーの規模は、事例から推定する。

図 6-2-8 に示した事例は、 $200\text{m} \times 800\text{m} = 160,000 \text{ m}^2$ である。

図 6-2-9 に示した事例は、 $400\text{m} \times 400\text{m} = 160,000 \text{ m}^2$ である。

近傍にある施設を事例にすれば  $160,000 \text{ m}^2$ 程度あれば設置が可能である。

### 【SUMMER 湯沢中里】

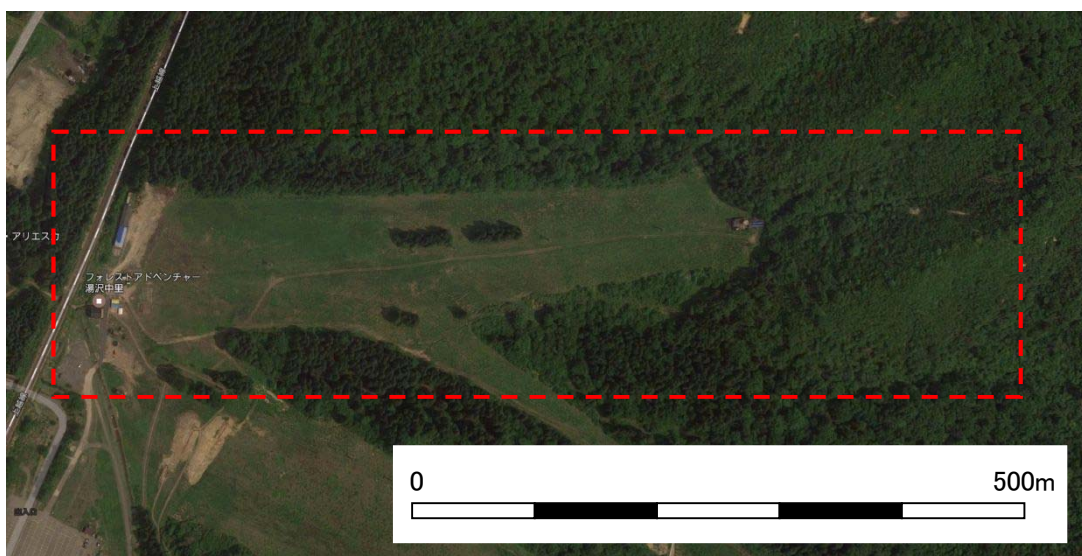


図 6-2-8 フォレストアドベンチャーの規模 (参考)

### 【FOREST ADVENTURE OHIRA】

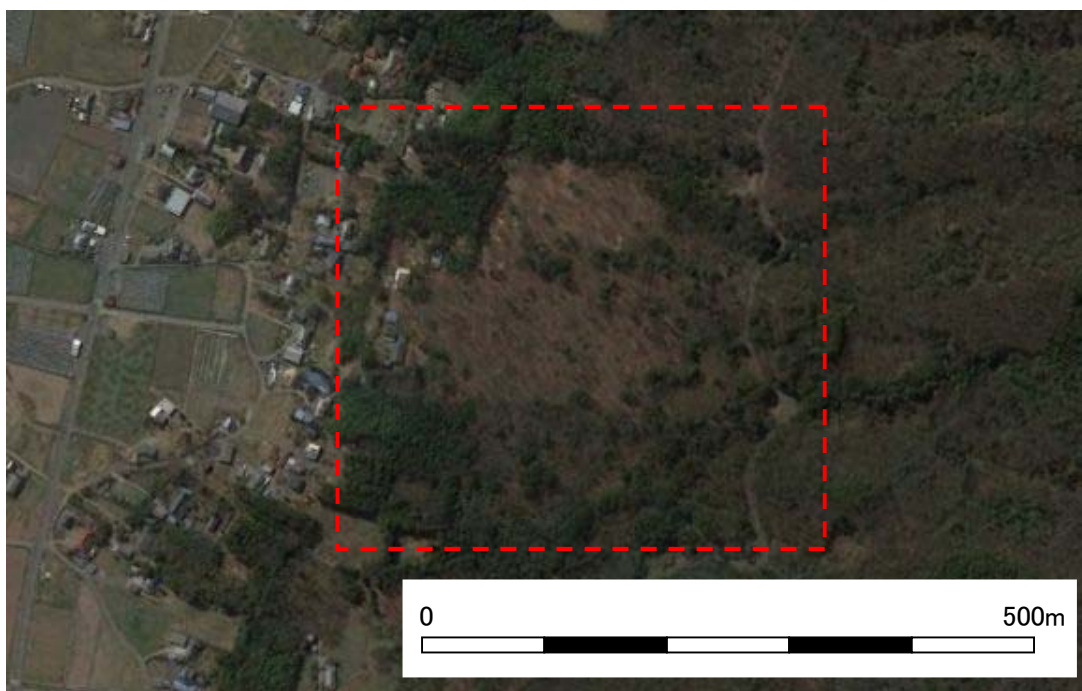


図 6-2-9 フォレストアドベンチャーの規模 (参考)

## 11) 花畑

花畑の規模は、集客力の国営公園等の花畑の事例を参考にする。

花畑のように花をボリュームで見せる場合の面積は、2,000~3,000 m<sup>2</sup>である。ローズガーデンのように特定の樹種をテーマとした場合の面積は、100 m<sup>2</sup>でも可能である。

表 6-2-5 福島県及び近県の花畑の規模

公園名称	所在地	施設名称	面積
国営越後丘陵公園	新潟県	花の広場	3,000 m <sup>2</sup>
国営みちのく杜の湖畔公園	宮城県	彩の広場	7,000 m <sup>2</sup>
国営ひたち海浜公園	茨城県	スイセンガーデン	10,000 m <sup>2</sup>
		常陸ローズガーデン	100 m <sup>2</sup>
国営武蔵丘陵森林公園	埼玉県	ハーブガーデン	2,500 m <sup>2</sup>
		ボーダー花壇	2,000 m <sup>2</sup>
		椿園	20,000 m <sup>2</sup>



国営越後丘陵公園 花の広場



国営みちのく杜の湖畔公園 彩の広場

## 12) パークゴルフ (参考)

パークゴルフを行うのに必要な規模は、「パークゴルフコース設置基準 (公益社団法人日本パークゴルフ協会)」により、12,000 m<sup>2</sup>以上である。

### 2 面積はどの位必要か。

- (1) 18ホールとして、おおよそ12,000 m<sup>2</sup>以上のコースの面積が望ましい。
- (2) 面積の上限基準は特に設けていないが、河川敷のような平坦で障害物が少ない条件でも20,000 m<sup>2</sup>位あれば十分です。
- (3) コースレイアウトの項にホール距離の制約があるので参照。



### 13) BMXコース (参考)

BMXコースの規模は、事例から推定する。

図 6-2-10 に示した事例は、 $130\text{m} \times 150\text{m} = 19,500 \text{m}^2$ である。

図 7-1-8 に示した事例は、 $90\text{m} \times 120\text{m} = 10,800 \text{m}^2$ である。

かさおか太陽の広場 (岡山県) は、 $28,450 \text{m}^2$ である (笠岡市HPより)。

近傍にある施設を事例にすれば  $10,000 \text{m}^2$ 程度あれば設置が可能である。

#### 【国営ひたち海浜公園】

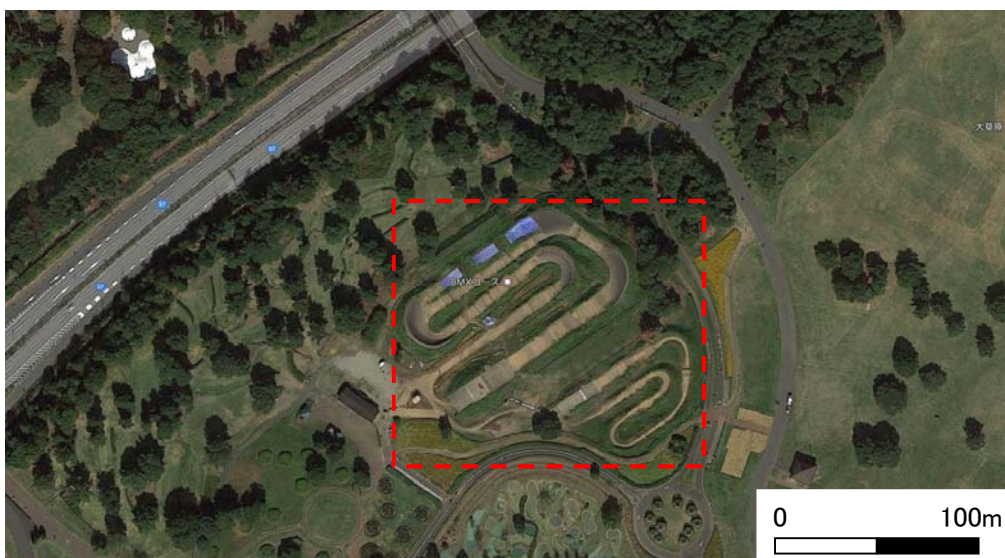


図 6-2-10 BMXの規模 (参考)

#### 【上越市BMX場】



図 6-2-11 BMXの規模 (参考)

6-2-2. 複合的な利用が考えられる施設の規模の整理

1) 多目的グラウンド

多目的グラウンドの規模は、ソフトボール4面を確保した上で、複合的に利用できる組合せを検討する。ソフトボール場の4面配置は、まとめて配置するパターンと2面ずつ分散して配置するパターンがあり、これに野球場、サッカー場、陸上競技場を配置すると、5つのパターンに分けられる。

表 6-2-5 多目的グラウンドの複合的な利用パターン

(mm)

	サッカー場 2 面	サッカー場 2 面+野球場 1 面	サッカー場 2 面+野球場 2 面
まとめて配置		<p>185,440</p> <p>185,440</p> <p>A=34,388 m<sup>2</sup></p>	<p>201,579</p> <p>201,579</p> <p>A=40,634 m<sup>2</sup></p>
分散して配置	<p>97,720</p> <p>185,440</p> <p>A=18,121 m<sup>2</sup></p> <p>97,720</p> <p>185,440</p> <p>A=18,121 m<sup>2</sup></p>	<p>97,720</p> <p>185,440</p> <p>A=18,121 m<sup>2</sup></p> <p>135,820</p> <p>185,440</p> <p>A=25,186 m<sup>2</sup></p>	<p>135,820</p> <p>185,440</p> <p>A=25,186 m<sup>2</sup></p> <p>135,820</p> <p>185,440</p> <p>A=25,186 m<sup>2</sup></p>



2) 体育館

体育館の規模は、バスケットボールコート、フットサルコート、バレーボールコートの組合せから、以下のパターンとなる。

表 6-2-6 体育館の複合的な利用パターン

赤：バスケットボールコート、青：フットサルコート、緑：バレーボールコート

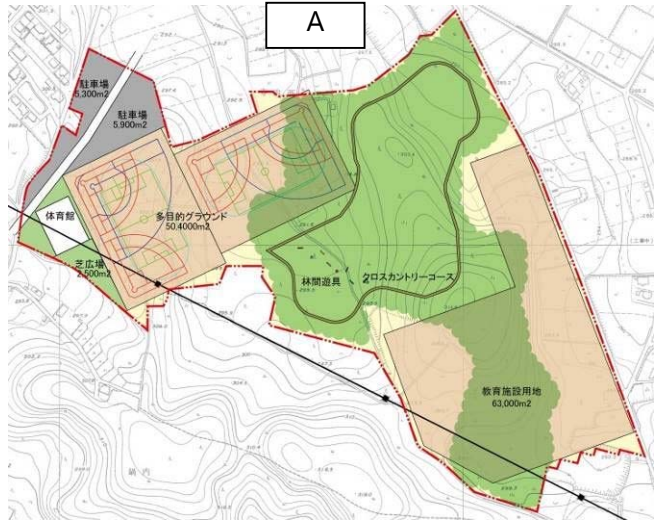
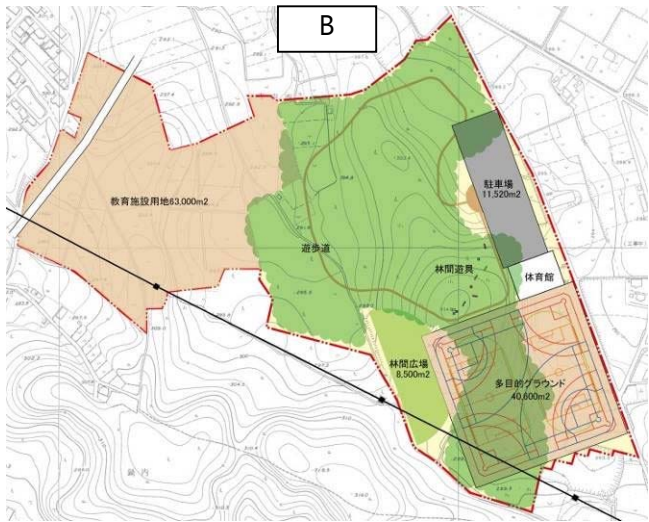
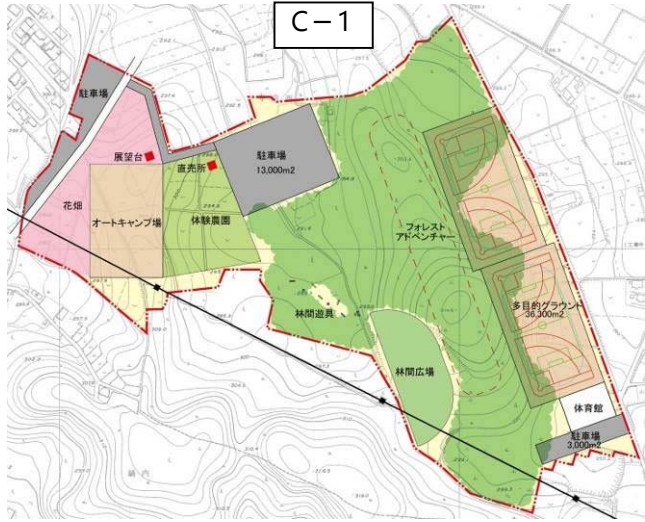
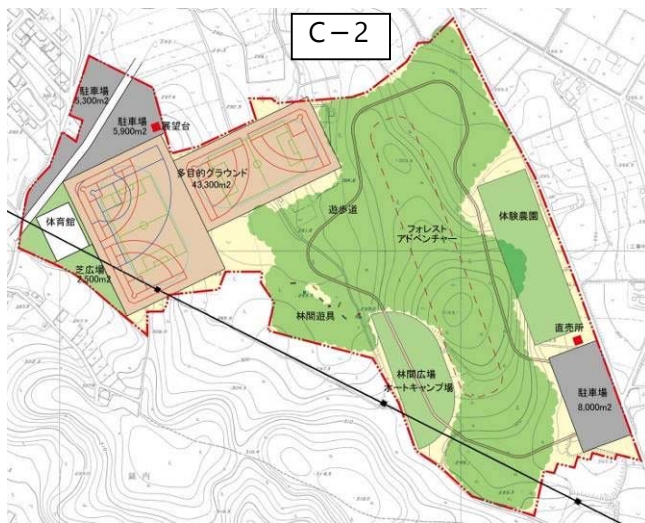
(mm)

バスケットボールコート	1面	2面	2面	3面
フットサルコート	1面	2面	2面	3面
バレーボールコート	2面	2面	4面	6面
寸法図	<p>24,000</p> <p>34,000</p> <p>A=816 m<sup>2</sup></p>	<p>43,000</p> <p>34,000</p> <p>A=1,462 m<sup>2</sup></p>	<p>47,000</p> <p>34,000</p> <p>A=1,598 m<sup>2</sup></p>	<p>70,000</p> <p>34,000</p> <p>A=2,380 m<sup>2</sup></p>

## 7. 施設配置の検討

3つのコンセプトから考えられる施設配置案を検討する。なお、将来の子供のために利用する教育施設用地を確保した。また、コンセプトに合致した今必要とされる施設を盛り込んだ案についても検討を行った。

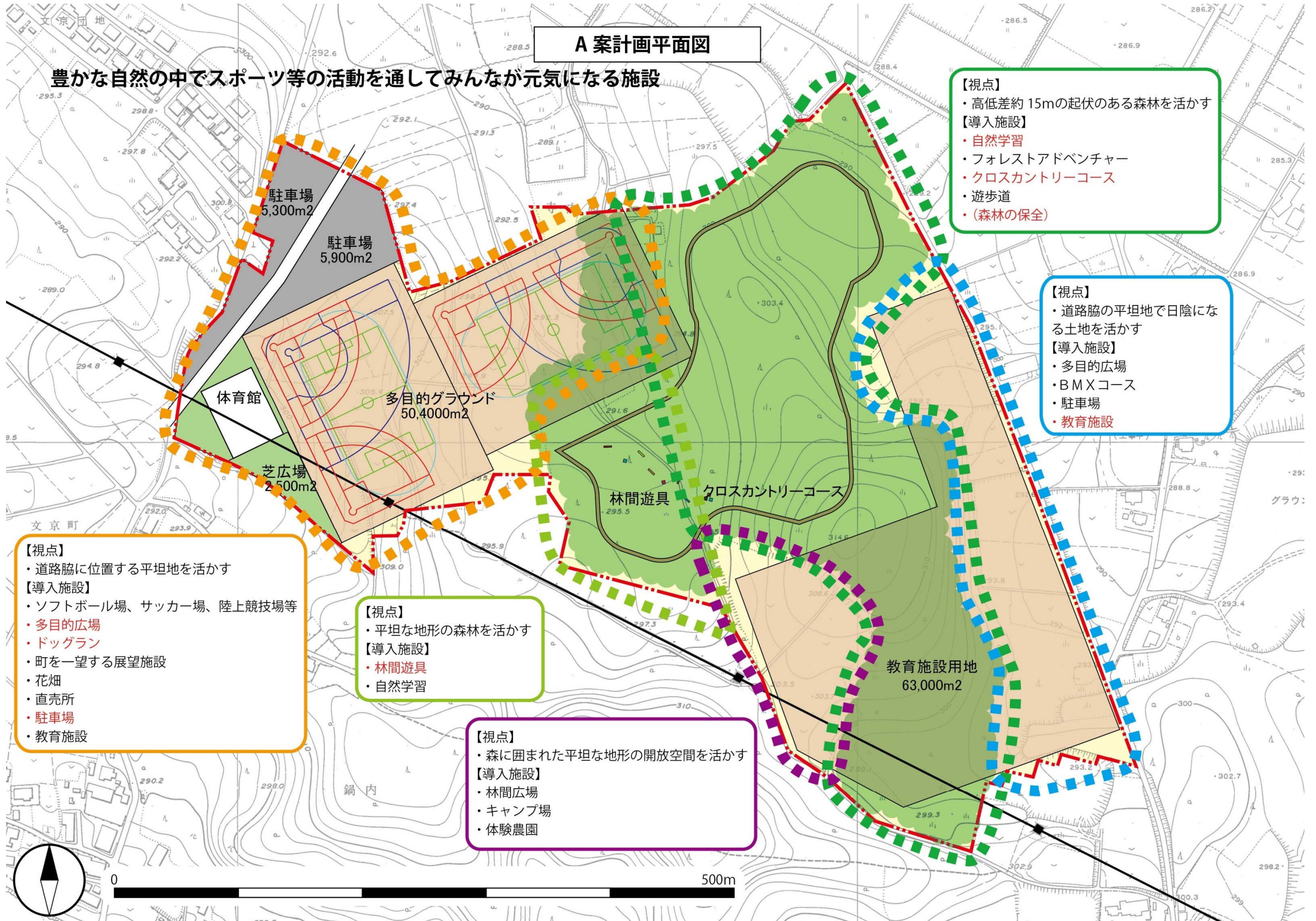
表 7-1 施設配置一覧表

	A案：豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設	B案：自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設	C案：町内外の人々が集い、きずなを深め、暮らしを豊かにする復興のシンボル
導入施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的グラウンド</li> <li>・芝広場</li> <li>・ドッラン</li> <li>・林間遊具</li> <li>・クロスカントリーコース</li> <li>・教育施設用地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設用地</li> <li>・多目的グラウンド</li> <li>・林間広場</li> <li>・林間遊具</li> <li>・遊歩道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的グラウンド</li> <li>・体験農園</li> <li>・キャンプ場</li> <li>・直売所</li> <li>・フォレストアドベンチャー</li> <li>・展望台</li> <li>・花畑</li> <li>・林間広場</li> </ul>
配置図	 <p>ソフトボール場 4面、野球場 2面、サッカー場 2面</p>	 <p>ソフトボール場 4面、野球場 2面、サッカー場 2面</p>	 <p>ソフトボール場 4面、サッカー場 2面</p>  <p>ソフトボール場 4面、野球場 1面、サッカー場 2面</p>



# A 案計画平面図

豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設



**【視点】**  
 ・高低差約 15mの起伏のある森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・自然学習  
 ・フォレストアドベンチャー  
 ・クロスカントリーコース  
 ・遊歩道  
 ・(森林の保全)

**【視点】**  
 ・道路脇の平坦地で日陰になる土地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・多目的広場  
 ・BMXコース  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・道路脇に位置する平坦地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・ソフトボール場、サッカー場、陸上競技場等  
 ・多目的広場  
 ・ドッグラン  
 ・町を一望する展望施設  
 ・花畑  
 ・直売所  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・平坦な地形の森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間遊具  
 ・自然学習

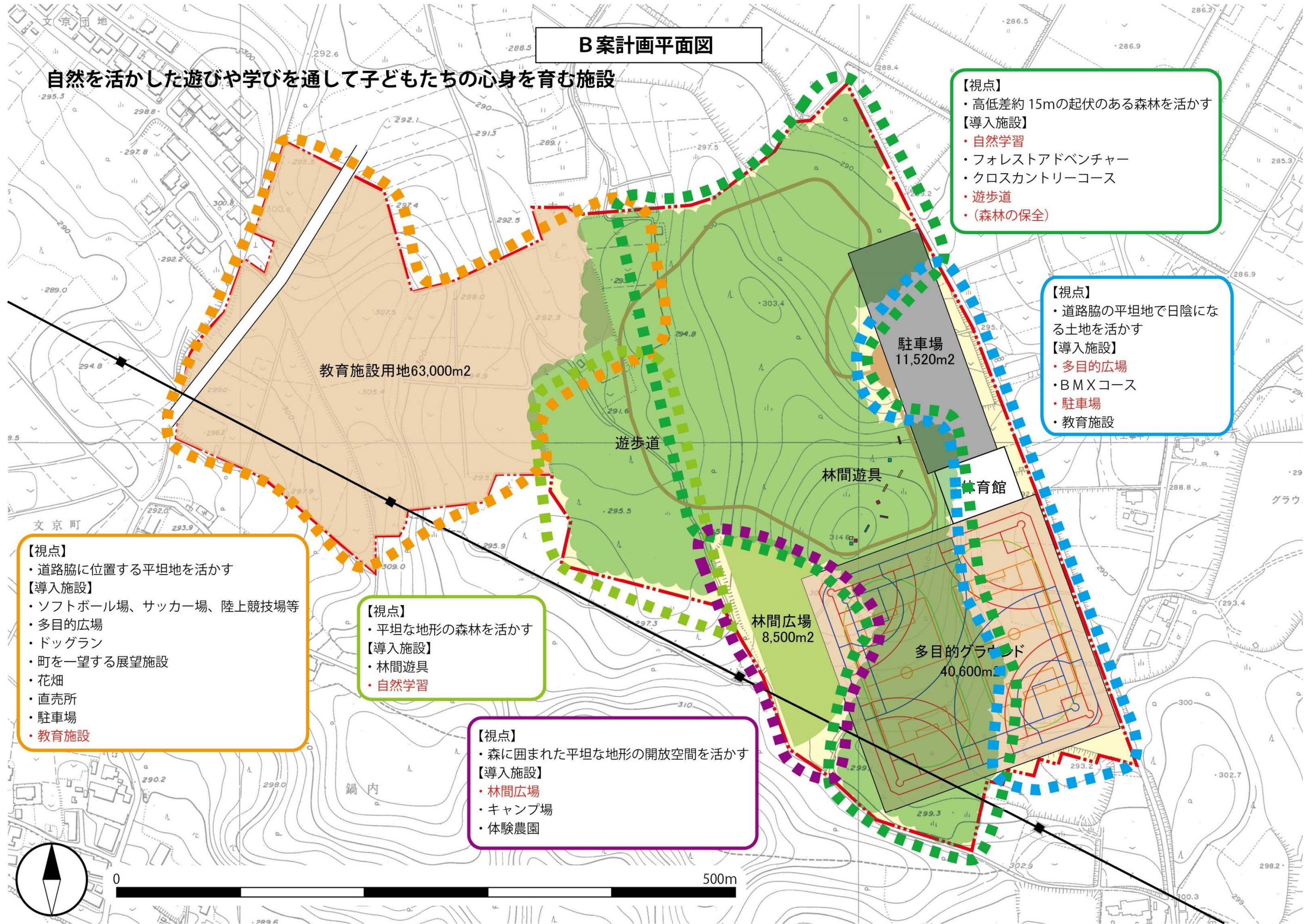
**【視点】**  
 ・森に囲まれた平坦な地形の開放空間を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間広場  
 ・キャンプ場  
 ・体験農園





## B案計画平面図

自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設



**【視点】**  
 ・高低差約15mの起伏のある森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・自然学習  
 ・フォレストアドベンチャー  
 ・クロスカントリーコース  
 ・遊歩道  
 ・(森林の保全)

**【視点】**  
 ・道路脇の平坦地で日陰になる土地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・多目的広場  
 ・BMXコース  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・道路脇に位置する平坦地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・ソフトボール場、サッカー場、陸上競技場等  
 ・多目的広場  
 ・ドッグラン  
 ・町を一望する展望施設  
 ・花畑  
 ・直売所  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・平坦な地形の森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間遊具  
 ・自然学習

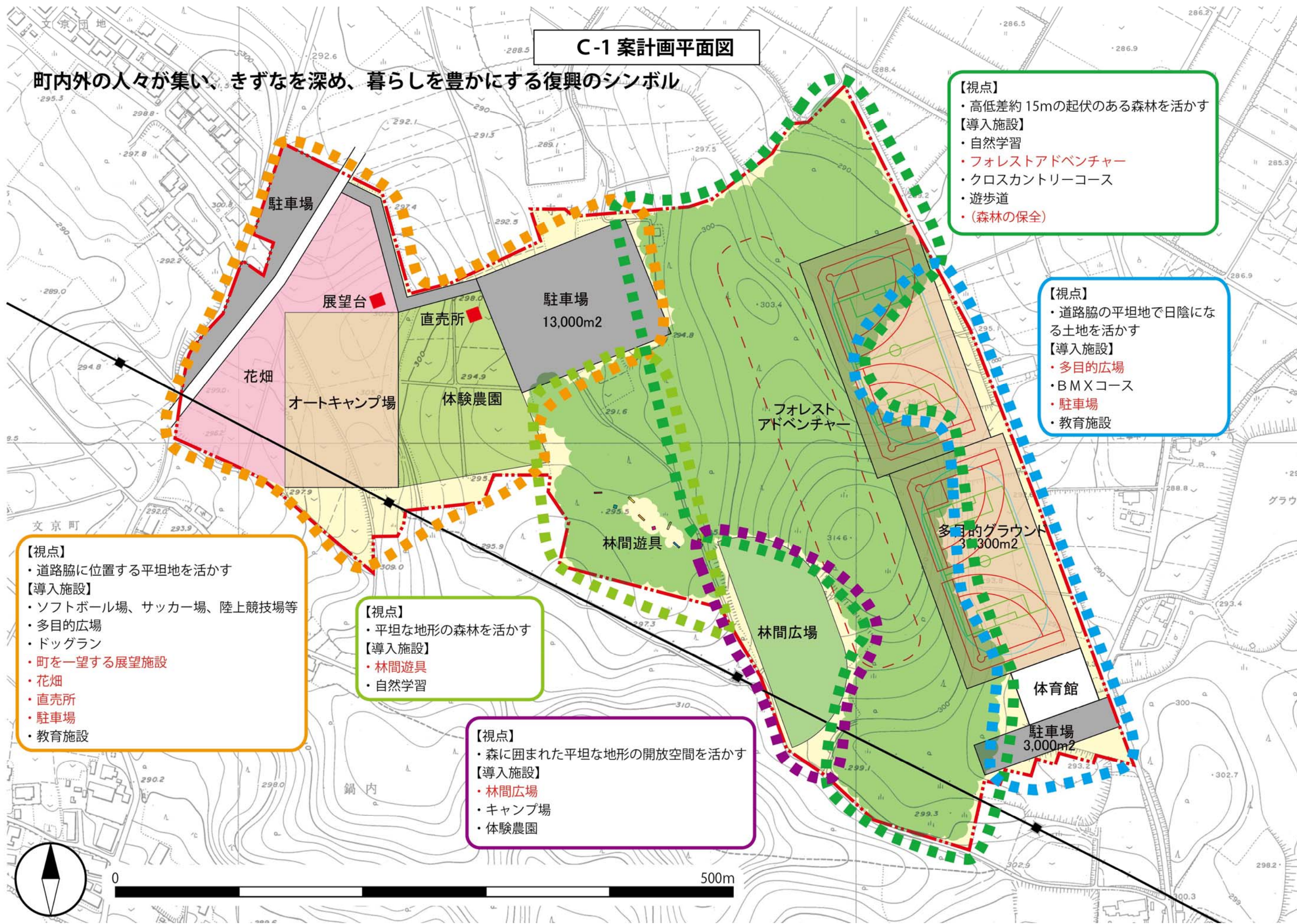
**【視点】**  
 ・森に囲まれた平坦な地形の開放空間を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間広場  
 ・キャンプ場  
 ・体験農園





# C-1 案計画平面図

町内外の人々が集い、きずなを深め、暮らしを豊かにする復興のシンボル



**【視点】**  
 ・高低差約 15mの起伏のある森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・自然学習  
 ・フォレストアドベンチャー  
 ・クロスカントリーコース  
 ・遊歩道  
 ・(森林の保全)

**【視点】**  
 ・道路脇の平坦地で日陰になる土地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・多目的広場  
 ・BMXコース  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・道路脇に位置する平坦地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・ソフトボール場、サッカー場、陸上競技場等  
 ・多目的広場  
 ・ドッグラン  
 ・町を一望する展望施設  
 ・花畑  
 ・直売所  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・平坦な地形の森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間遊具  
 ・自然学習

**【視点】**  
 ・森に囲まれた平坦な地形の開放空間を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間広場  
 ・キャンプ場  
 ・体験農園





# C-2 案計画平面図

町内外の人々が集い、きずなを深め、暮らしを豊かにする復興のシンボル



**【視点】**  
 ・高低差約 15mの起伏のある森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・自然学習  
 ・フォレストアドベンチャー  
 ・クロスカントリーコース  
 ・遊歩道  
 ・(森林の保全)

**【視点】**  
 ・道路脇の平坦地で日陰になる土地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・多目的広場  
 ・BMXコース  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・道路脇に位置する平坦地を活かす  
**【導入施設】**  
 ・ソフトボール場、サッカー場、陸上競技場等  
 ・多目的広場  
 ・ドッグラン  
 ・町を一望する展望施設  
 ・花畑  
 ・直売所  
 ・駐車場  
 ・教育施設

**【視点】**  
 ・平坦な地形の森林を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間遊具  
 ・自然学習

**【視点】**  
 ・森に囲まれた平坦な地形の開放空間を活かす  
**【導入施設】**  
 ・林間広場  
 ・キャンプ場  
 ・体験農園

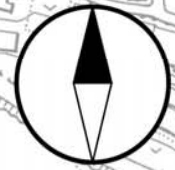


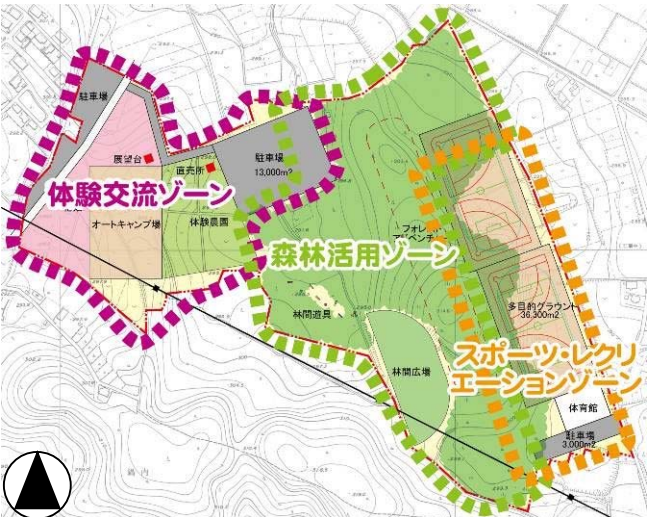
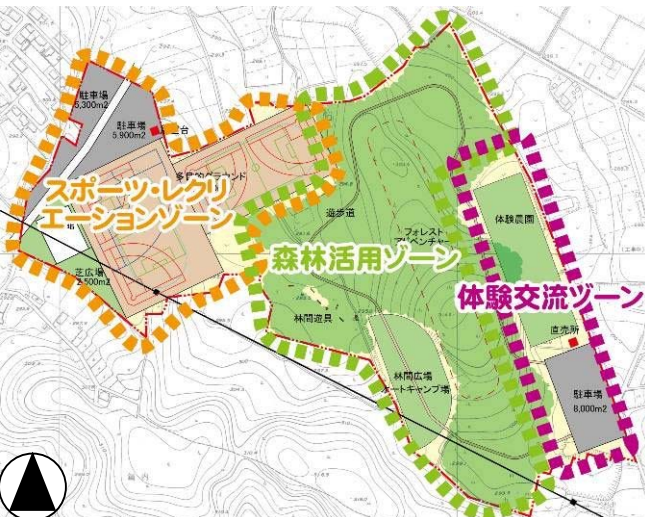




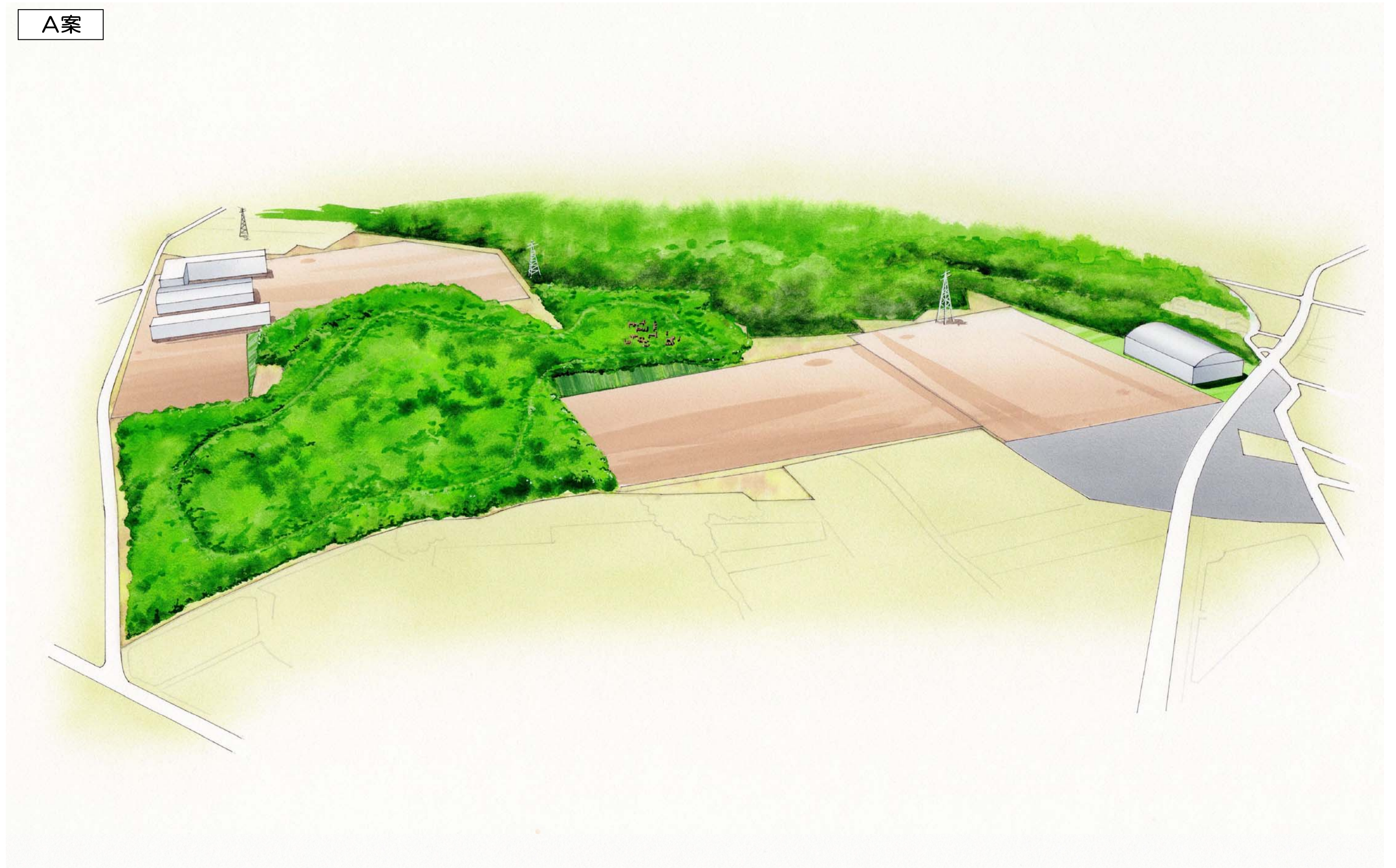
表 7-2 施設配置比較表

		A案：豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設	B案：自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設	C案：町内外の人々が集い、きずなを深め、暮らしを豊かにする復興のシンボル	
				C-1案	C-2案
計画図					
配置の考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的グラウンドなどの主要な施設は、アクセスの良い西側に配置</li> <li>教育施設用地は、セキュリティ上、一般利用の施設と離して、森林の伐採を極力抑えるように東平地部に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な施設となる教育施設用地は、森林がなくまとまった土地が確保できる西側に配置</li> <li>一般利用の施設は、セキュリティ上、教育施設用地と離して東平地部に配置</li> <li>東側は、駐車場を道路に面して配置した上で、森林の伐採を極力抑えるように多目的グラウンドを配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場や体験農園などの集客施設は、アクセスの良い西側に配置</li> <li>キャンプ場は見晴らしの良い高台に配置し、体験農園は現状で農用地として利用されている位置に配置</li> <li>多目的グラウンドは、森林の伐採を極力抑えるように東平地部の地形に合わせて配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広い面積が必要な多目的グラウンドは、森林の伐採を極力抑えるように西側に配置</li> <li>東側は、南平地部と東平地部を利用し、各エリアにアクセスしやすいように中間部に駐車場を配置</li> </ul>
導入施設	スポーツ	多目的グラウンド（野球場2面） 体育館 芝広場	多目的グラウンド（野球場2面） 体育館	多目的グラウンド（野球場なし） 体育館	多目的グラウンド（野球場1面） 体育館 展望台
	森林活用	林間遊具 クロスカントリーコース	遊歩道 林間遊具、林間広場	フォレストアドベンチャー 林間遊具、林間広場	キャンプ場 フォレストアドベンチャー 林間遊具、林間広場
	体験交流	教育施設用地	教育施設用地	体験農園 キャンプ場 花畑 直売所 展望台	体験農園 直売所
導入を考慮される施設例	自然学習施設、休憩施設、サイクリングコース、自然探索コース、パークゴルフコース、パターゴルフ、ドックラン、BMXコース、合宿が行える宿泊施設等、文化施設、調整池、倉庫などの付属施設				
土工量		盛土量：98,000m <sup>3</sup> 切土量：372,000m <sup>3</sup> 残土量：274,000m <sup>3</sup>	盛土量：116,000m <sup>3</sup> 切土量：291,000m <sup>3</sup> 残土量：175,000m <sup>3</sup>	盛土量：58,000m <sup>3</sup> 切土量：105,000m <sup>3</sup> 残土量：47,000m <sup>3</sup>	盛土量：64,000m <sup>3</sup> 切土量：42,000m <sup>3</sup> 不足土：22,000m <sup>3</sup>
メリット		○集客施設へのアクセスが良い	○多目的グラウンドが変形ではなく整形であるため、様々な利用に対応できる	○町外を対象とした集客施設へのアクセスが良い ○駐車場を中央部に配置することにより、各施設へのアクセスが良い	○土地形状の変更が最も小さい ○樹木伐採量が最も少ない
デメリット		●土地形状の変更が最も大きく、樹木伐採量も最も多い	●集客施設へのアクセスが悪くなる ●樹木伐採量が多い	●キャンプ場が西側の住宅地に近い ●C-2案と比べて樹木伐採量が多い	●町外を対象とした集客施設へのアクセスが悪くなる
期待される効果		スポーツ活動をメインとすることから町内、近隣市町村のスポーツの活性化および学校スポーツにおける利用。	林間施設による教育を実施することで子育て支援を行いながら自然とのふれあいを行うことができる。	体験農園、キャンプ場、直売所などは集客が見込め、特にフォレストアドベンチャーは近隣にないため広域的な集客が期待できる。	
検討課題		開発にともなう流量増対策については、調整池や流出量を軽減する対策などさまざまな検討課題があり、時点では調整池の規模などが示すことが出来ない。		また、調整池を整備する計画においても、調整池の上を有効利用したり、親水池として整備したりとさまざまな計画が出来る。そのため、今後、計画が深まり導入施設や地形条件等が決定した時点で検討し反映する必要がある。	



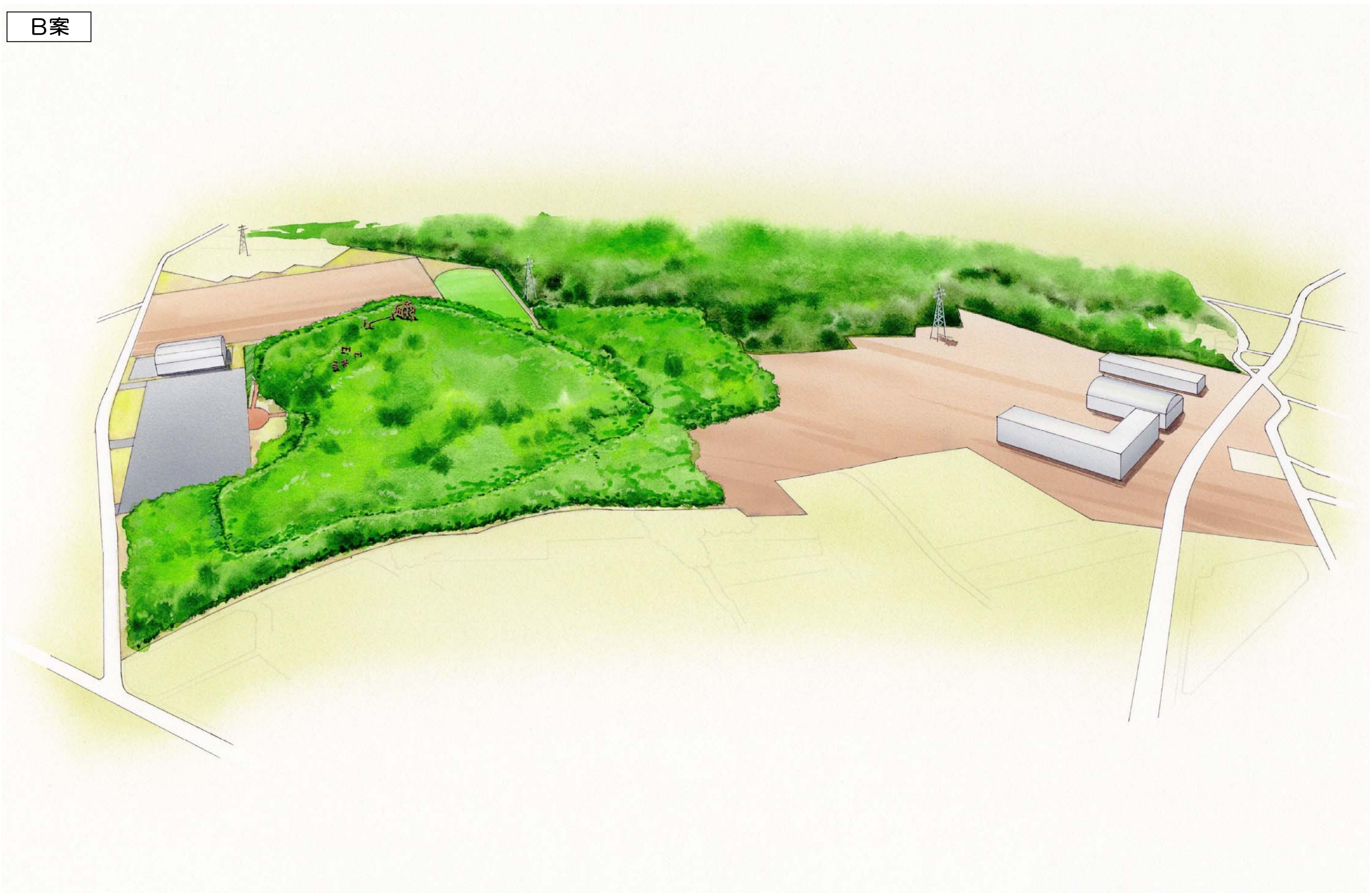
8. 旧総合運動公園用地利活用（案）イメージパース

A案



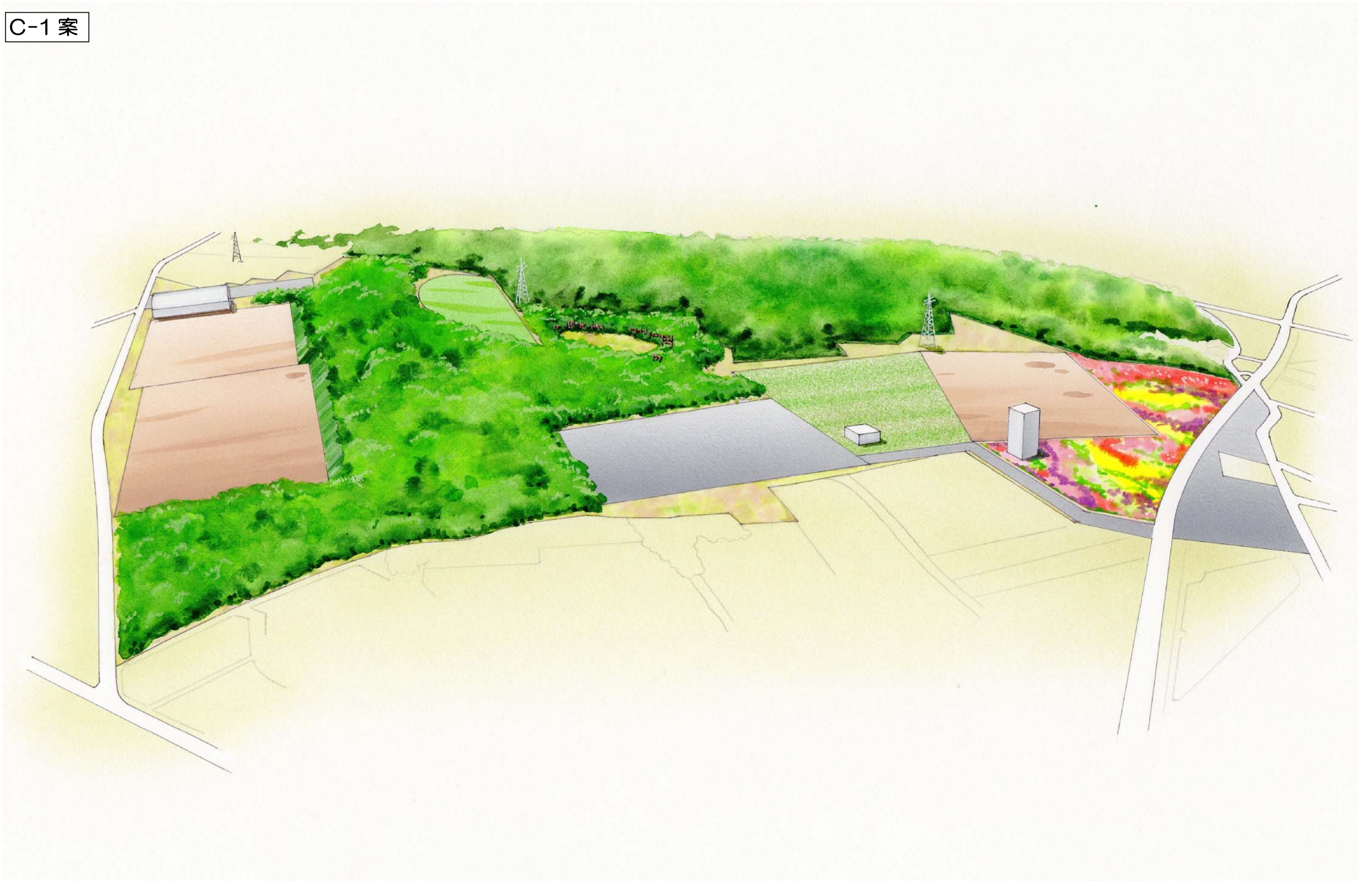


B案



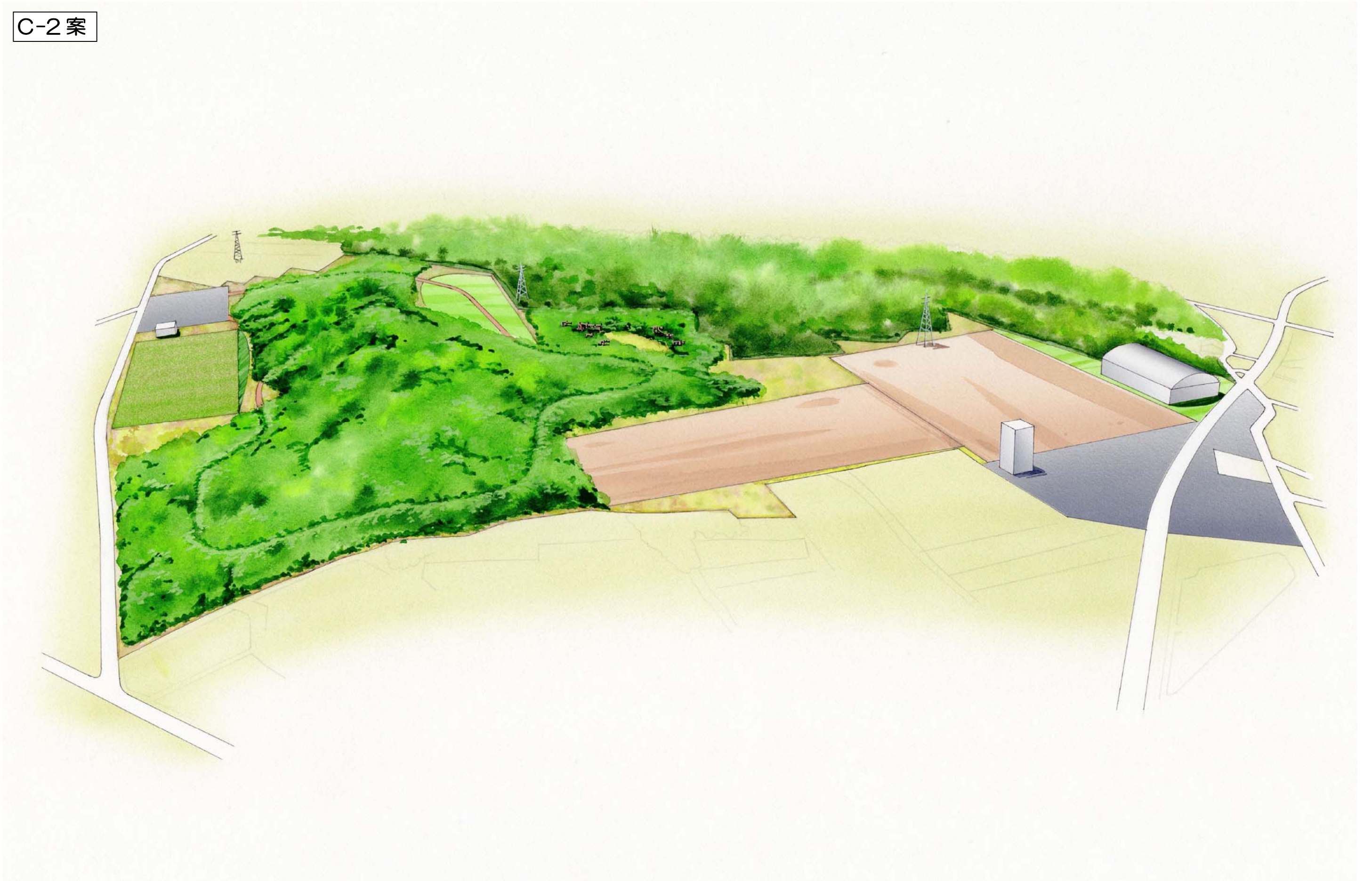


C-1 案





C-2 案



## 9. 今後の検討課題

### 9-1. 本構想の構成

本構想は、住民アンケートから導かれる住民ニーズと総合計画におけるまちづくりの方向性を踏まえて3つのコンセプトを設定している（p25～26）。

そして、現況の調査結果から課題を整理した上で検討方針を設定している（p27）。検討方針を踏まえコンセプト毎に導入施設を抽出し（p28）、優先度や民間活力の導入の視点から抽出した導入施設を整理している（p31）。整理した導入施設について施設規模を検討し（p32～41）、グラウンドと体育館は、複合的な利用の組合せにより施設規模のパターンを検討している（p42～43）。

施設配置は、3つのコンセプトの共通項である「自然環境の保全」に配慮して、各コンセプトの特徴を踏まえ検討し、施設配置計画図を示している（p44～48）。

最後に、施設配置計画案について、メリット、デメリット、期待される効果、検討課題をまとめている（p49）。

### 9-2. 基本計画における検討課題

#### 1) コンセプトについて

基本計画では、3つのコンセプトから1案に絞り込み、より具体的に内容を検討する必要がある。また、本コンセプトは住民ニーズやまちづくりの方向性を総合的に考慮して最大公約数的に設定しているが、住民や町にとって何が一番必要かを検討し、ある特定の事項を優先させてより特徴を特化させた戦略的なコンセプトとするかを精査する必要がある。

#### 2) 民間活力の導入につて

本構想では、民間施設の誘致の可能性について言及しているが、基本計画においては、民間の意向把握や費用対効果分析などを行い、民間活力の導入の可能性について調査する必要がある。

#### 3) 導入施設について

検討委員会では、導入施設の抽出や規模検討について意見が多く出されているが、導入施設は、基本計画でコンセプトを絞り込み、その上で利活用や維持管理を踏まえて、以下に示す施設を含めて詳細に検討する必要がある。

- ・自然学習施設
- ・休憩施設
- ・サイクリングコース
- ・自然探索コース
- ・パークゴルフコース
- ・パターゴルフ
- ・ドックラン
- ・BMX コース
- ・合宿が行える宿泊施設等
- ・文化施設
- ・調整池
- ・倉庫などの付属施設



#### 4) 調整池について

開発にともなう流量増対策については、調整池や流出量を軽減する対策などさまざまな検討課題があり、時点では調整池の規模などが示すことが出来ない。

また、調整池を整備する計画においても、調整池の上を有効利用したり、親水池として整備したりとさまざまな計画が出来る。そのため、今後、計画が深まり導入施設や地形条件等が決定した時点で検討し反映する必要がある。

#### 5) 事業の進め方について

今後は、基本計画、基本設計、実施設計、整備、維持管理という段階を踏んで進めていくが、事業の進捗状況に合わせて適切な段階で、住民アンケートやパブリックコメントなどを行い住民の意向を把握したり、費用対効果分析を行い整備の妥当性を把握したりする必要がある。また、整備の年次計画を策定し、計画的に整備を進めていく必要がある。